

平成27年度
Voice of ちとせ「第三回千歳市民討議会」
実施報告書

千歳市民討議会実行委員会

【目 次】

1. はじめに

- (1) 実行委員長挨拶・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- (2) 市民討議会とは・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

2. 平成27年度 Voice of ちとせ 「第三回千歳市民討議会」の実施について

- (1) 市民討議会実施に至る背景（プロセス）・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- (2) 千歳市民討議会実行委員会による企画・運営・・・・・・・・・・・・ 3
- (3) 第三回千歳市民討議会 概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- (4) 第三回千歳市民討議会 討議方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- (5) 当日のタイムスケジュール・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
- (6) 討議内容と流れ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
- (7) 各グループで出された意見や討議内容・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

3. 千歳市民討議会の提言

- (1) 実行委員会にて提言作成の実施・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3 3
- (2) 討議会投票結果と提言・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3 4
- (3) 今回の市民討議会の検証と考察・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3 5

4. 資料

- (1) 広報掲載記事・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6 0
- (2) 当日の様子・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6 4
- (3) 千歳市民討議会実行委員会諸会議一覧・・・・・・・・・・・・・・・・ 6 8
- (4) おわりに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6 8

1、はじめに

(1) 実行委員長挨拶

千歳市民討議会報告書を発刊するにあたり、実行委員会を代表しご挨拶申し上げます。
本年度実施致しました千歳市民討議会は、2013年より千歳市民討議会を実施しております一般社団法人千歳青年会議所と千歳市民討議会へ参加した市民の有志により組織された実行委員会により実施運営を行いました。千歳市民討議会を通じて千歳市民自らが千歳市のまちづくりについての議論を喚起し、市民によるまちづくりの輪を広げる意識変革を先導し活気ある輝かしいまち千歳の創造に向けて活動して参ります。本報告書が千歳のまちづくり政策を決定する資料として活用されることを願い、簡単ではございますが実行委員長の挨拶とさせていただきます。

千歳市民討議会実行委員会 実行委員長
一般社団法人千歳青年会議所 理事長
井 溪 利 光

(2) 市民討議会とは

市民討議会とは、無作為抽出による市民が集まり、まちづくりに関するテーマについて情報提供を受けた上で話し合い、そこで出された意見を集約してまちづくりに活かす市民参加手法のひとつです。ドイツの住民自治手法である「プラーヌクスツェレ」を日本風にアレンジして取り入れたものであり、日本青年会議所が日本に紹介し、2005年に東京で実施されて以来、各地に広まっています。

各種の審議会や公聴会、タウンミーティング等の市民参加手法では、行政が出席依頼した各種団体や自治会の役員など、いつも決まった顔ぶれである場合が多いのに対し、市民討議会は、サラリーマンや主婦、学生など意見を表明したくてもなかなか出来ない人たち(サイレントマジョリティ)の意見を吸い上げることができます。

そこで、普段声を発する機会の少ない市民が千歳のまちづくりに参加するきっかけをつくり、市民参加・市民協働によるまちづくりを推進することを目的として、千歳青年会議所は、千歳市民討議会を開催することとしました。

※『プラーヌクスツェレ』の定義

無作為抽出で選ばれ、限られた期間、有償で、日々の労働から解放され進行役のアシストを受けつつ、事前に与えられた解決可能な計画に関する課題に取り組む市民グループである。

2、平成27年度 Voice of ちとせ 「第三回千歳市民討議会」の実施について

(1) 市民討議会実施に至る背景（プロセス）

～市民主導のまちづくりへ向けて～

近年、真に自立したまちの構築を掲げ、中央集権型社会から地方分権型社会へと移行しつつある中、これら地方自治をめぐる動きに対して、基礎自治体である市町村は、限られた財源で多くの課題に取り組まなければならないため、厳しい行政運営を迫られています。このような状況である今こそ、地方自治体の独創的なあり方が問われ、独自財源の確保、地域に適した自治の手法の構築が最重要課題となっています。また、行政サービスの受け手であった住民の意識や行動も問われています。

今日、「市民参加」「市民協働」がいたるところの自治体で言われていますが「民主主義」が市民、住民を主人公としているため、「市民の声を聞く」とは当たり前のことですが、現在は住民の声を施策に活かすため、市民アンケートやヒアリング、政策公募、タウンミーティングや市民会議などに取り組んでいます。しかし、これらに参加する住民は、それぞれの分野に興味をもち、時間的にも比較的余裕のある限られた住民が多いことが想定され、限られた参加者により意見が集約されるのではないかとの懸念もあります。そこで、社会全体の市民、無関心層やサイレントマジョリティー(物言わぬ大衆)といった多くの市民を取り込んだ真の市民自治による協働のまちづくりをさらに推進していくため、市民参加の新たな手法に取り組んでいく必要があると考えます。

(2) 千歳市民討議会実行委員会による企画・運営

目的

千歳市民自らが、市民討議会を通じて、まちづくりに関心の無い人、もしくは関わりを持つことが出来なかった市民へまちづくりの機会を創出し、自身の住む地域を良くするという当事者意識を醸成し「市民主導型社会」を構築し、明るい豊かなまち千歳の創造のため、千歳市民討議会の企画・実施・運営を目的とする。

実行委員会メンバー構成

千歳市民討議会を運営するにあたり、千歳青年会議所のメンバーと千歳市民討議会に参加された市民の有志24名によって構成されます。

実行委員長には千歳市青年会議所理事長が就任し、副実行委員長に千歳市民からの有志1名と千歳青年会議所の所管する理事が1名配置することとなっています。

千歳市民討議会実行委員会 2015年度実行委員一覧

No.	役職	所属	名前
1		市民	芦高 秀知
2		市民	石川久雄
3	実行委員長	JC	井溪 利光
4		JC	太田 憲之
5		JC	岡田 恵
6	副実行委員長	市民	川口 敏夫
7		市民	古幡 直
8		市民	榊原 達也
9		市民	佐々木 浩
10		市民	末村 友幸
11	事務局長	JC	曾我部 喬
12		JC	高田 周一郎
13		市民	高遠 修一
14	副実行委員長	JC	中田 愛
15		市民	中村 千江子
16		JC	中山 千太郎
17		JC	鳴海 昌成
18		市民	野長瀬 妙子
19		市民	秦 由基
20		JC	羽生 健太郎
21		JC	深谷 信之
22		JC	増子 洋行
23		市民	松倉 みか
24		市民	松田 隼人

※五十音順

※JC=千歳青年会議所

合計24名

(3) Voice of ちとせ「第三回千歳市民討議会」実施の目的

千歳市は、北海道で平均年齢が一番若く、労働人口の流動性が高いことから、愛着をもって定住する人が少なく、市民自らがまちづくりに関心を持っていない傾向にあります。過去2年間にわたり、千歳市民討議会を実施し市民によるまちづくりの機会を提供し、意識高揚を図ってまいりました。千歳市民討議会の認知度の向上と意識高揚といった点では効果がありましたが、討議会参加者からは、討議結果をまちづくりに活かしてほしいという声が多数御座いました。

本年は、討議結果をまちづくりに活かしていけるような提言を作成して関係機関へ提出する事が課題であります。又、昨年度千歳市民討議会に参加して頂いた皆様と千歳青年会議所の会員で構成させる千歳市民討議会実行委員会を設立致しました。今後、実行委員会と共に市民主導のまちづくりを実現する為には、千歳市民討議会を継続して実施して更なる千歳市民討議会の価値、影響力を高めていく事が必要不可欠であると考えます。

(4) Voice of ちとせ 「第三回千歳市民討議会」概要

- 事業名 Voice of ちとせ 第三回千歳市民討議会
「～みんなで語ろう確かな未来～」
- 運営形態 主催：千歳市民討議会実行委員会
- 開催場所 千歳公民館 2階大集会室
- 参加者 52人（20歳以上の一般市民）
- 参加者抽出 20歳以上の男女2,000人を無作為抽出し、参加依頼書を送付。
51人から応募があり、51人の方に参加通知書を送付しました。（1名当日）
- 討議テーマ テーマ1 千歳の中心市街地区の賑わいについて考えよう！
テーマ2 千歳の河川流域の環境問題について考えよう！
- 情報提供 テーマ1について、千歳市産業振興部による情報提供
テーマ2について、北海道開発局札幌建設部による情報提供
- 討議進行 【少人数のワークショップ形式によるグループ討議】
 - ① 参加者を討議グループ（手法により1グループ5～6人のグループ）に分けさせて頂きました。
 - ② グループごとに、各テーマに関するグループディスカッションを行い、グループとしての意見を集約致しました。
 - ③ グループで集約した意見を発表したのち、もっとも賛同できる意見に対して参加者に投票をして頂きました。

(5) Voice of ちとせ 「第三回千歳市民討議会」の討議方法

～プランクスツェレとの比較で～

第三回千歳市民討議会は、ドイツの市民参加の手法である「プランクスツェレ（注）」に学びながらも、千歳市で実施するにあたり、千歳市民討議会実行委員会にて独自に再構築し、様々な創意工夫を行いました。

～話し合いの方法～

話し合いは、プランクスツェレとほぼ同様の手法で行われました。その特徴の第1点目は、1グループ5人～6人単位で、全部で12グループが同時に話し合いを進めたことです。少人数での話し合いでは、グループ内全ての人が発言する機会があります。

第2点目は、各グループの代表により発表が行われ、全体の意見の傾向を見るために、グループごとにまとめた個々の意見に対して、参加者が投票を行うことで、参加者全体の意見の共有に努める。

(注)：解説：プランクスツェレとは・・・

プランクスツェレ（独：Planungszelle：計画細胞）は、ペーター・C・ディーネル ドイツ・ヴパタル大学名誉教授により1970年代に考案された市民参加の手法です。ドイツでは、1990年のドイツ統一後、地方公共団体において住民投票制度が導入されていったことに伴い、直接民主主義に対する認識が高まりました。このような潮流の中で、市民参加の手法の1つとしてプランクスツェレが注目されました。現在はスペインやオランダなどでも取り組みがなされています。他の市民参加の手法に比べてコストがかかる点と開催の準備や最終報告に時間がかかる点に問題があるものの、サイレントマジョリティと呼ばれる一般の市民の声なき声を抽出する方法としてきわめて有効であると評価されています。

★定義

『プランクスツェレは、無作為抽出で選ばれ、限られた期間、有償で、日々の労働から解放され、進行役のアシストを受けつつ、事前に与えられた解決可能な計画に関する課題に取り組む市民グループである』～「プランクスツェレ（ディーネル教授 著）」より～

★主な特徴（ドイツ型）

- 1 話し合いへの参加者を無作為抽出で選ぶ。
- 2 参加者に謝礼を払う。
- 3 参加者だけで話し合いを行い、全体で投票を行う。
- 4 各話し合いの前に現状や課題などの情報提供を行う。
- 5 まとまった結果を市民答申として公表する。

(6) 当日のタイムスケジュール

Voice of ちとせ 第三回千歳市民討議会

テーマ： 「～みんなで語ろう確かな未来～」

会場： 千歳公民館 2階 大集会室

時 間	内 容
09:30	受付開始
10:00	開会宣言
10:01	主催者挨拶
10:06	趣旨説明
10:09	討議進行の説明
10:30	情報提供 【討議テーマ1】 千歳の中心市街地地区の賑わいについて考えよう！ 情報提供者：千歳市産業振興部 商業労働課
11:00	休憩
11:05	討議
12:05	発表・投票
12:55	昼食休憩
13:45	情報提供 【討議テーマ2】 千歳の河川流域の環境問題について考えよう！ 情報提供者：北海道開発局札幌開発建設部
14:15	休憩
14:20	討議
15:20	発表・投票
16:10	討議会終了
16:15	お礼の言葉
16:25	閉会宣言
16:26	記念撮影
16:30	解散

(7) 討議内容の流れ

【討議テーマ】

1、千歳の中心市街地地区の賑わいについて考えよう！

現在千歳市の人口は増加しているのに関わらず、タウンプラザ周辺の中心市街地区では、人の賑わいが無く、どのように千歳市民を中心市街地区に来てもらうかが問題となっています。大型店舗の出店やネットショッピングの普及により、閑散としている中心商店街の活性化が急務となっています。市民の観点から中心市街地区を活性化する為にはどうしたらよいか、千歳市民の声として討議しました。

2 千歳の河川流域の環境問題について考えよう！

千歳のアイデンティティとして、また観光資源、生活資源としての千歳川が千歳市民として愛着や拠り所として誇れるものでしょうか？これをはかる一指標として河川環境周辺の廃棄物の増加が挙げられます。毎年河川周辺の清掃活動を行っているのにも関わらず、不法投棄は減少しない状況にあります。清流千歳川を中心に千歳市内を流れる河川の環境問題を討議し千歳市民としての川を大切にしていこうという意識向上に繋がりたいと考えました。

1、情報提供

基礎知識のない方でも公平に討議に参加できるように討議する内容に対して、現状の状況や仕組みなど討議を進めていく為に必要な情報を説明いたします。

2、討議

① 自己紹介

テーブル内で「〇〇に住む〇〇です」と簡単な自己紹介を各自行っていただきます。

② 討議、話し合い、付箋への書き出し

討議、話し合いをしながら、できるだけたくさんの建設的なアイデアや意見を付箋へ書き出し、討議ボードへ貼り付けていきます。

③ 書き出した付箋のグループ分け、提案内容のまとめ

書き出した内容を似たものに分けていきます、分けられたアイデアをより良い課題解決へ向けて、テーブルで討議していきます。討議のアイデアを3つに集約し、わかりやすく討議ボードのまとめ欄へ記入していきます。

3、テーブル発表

テーブル内で、はじめに役割をくじ引き等で決定し、決定した発表者によってテーブルごとにまとめた3つの意見を順にテーブル発表を行う。

4、全体投票

全ての発表を終えた後、討議ボードを前面に貼りだし、他のテーブルも含め全てのまとめの中から、自分が良いと思ったアイデアに各自が投票する。

※一人持ち票を5票とし、一つのまとめに対して最大3票まで投票出来ます。

以上ここまでのサイクルを一つの討議として、2サイクル行います。

【討議をしていくためのルール】

- ① 自分だけが話すのではなく、周りの意見もちゃんと最後まで聞くこと。
- ② 周りで出た意見や質問やアイデアに対して頭から否定するようなことは絶対にしないこと。
- ③ 周りや、行政、その他団体等関係者に対して中傷するような言動は絶対にしないこと。
- ④ 誰かに「要求するだけ」といったようなものではなく、討議のテーマに対して、あくまで建設的な考え、意見やアイデアを出していくように心がけること。
- ⑤ 討議の最中は楽しい雰囲気大切にすること。

(8) 各グループで出された意見や討議の内容

討議テーマ1 千歳市の中心市街地地区に賑わいを作ろう！

【Aグループ 討議内容】

テーマ1 千歳市の中心市街地地区に賑わいを作ろう！	グループA	
	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化60歳～75歳の賑わい。 ・高齢者と若い人の交流の場として、気軽に集まるような場がたくさんあれば。 ・散歩、健康、旬の集い。 ・徒歩で集まる。夜にも。 ・青年部育成。 ・駅前も活性化出来れば良い。 ・市民が集うイベントを実施しているがPR効果が不十分。 ・中心街コミュニティの利用方法として商店としては難しい。 ・駐車場が使いにくい。カルチャースクールとして利用してみてもは。 ・美味しいお店を知人に教える。 ・朝市をつくる。 ・公営住宅を中心街に作り、若いファミリー、高齢者が出かけやすい環境を作る。 ・ニューサンロードに駐車場がなくて不便なので無料の駐車場を作ってほしい。 ・タウンプラザにレジャスポのようなスポーツ・ゲーム・カラオケ・楽器演奏、マッサージチェア、漫画喫茶、ボウリングなど遊べる店を出船する。 ・イベントの宣伝、紹介のPR不足。例えば、プレミアム券の使用できる店舗が良くわからない。 ・各商店街全体でイベントを実施する。人が集いやすい場所を提供する。 ・ちゃんなどと商店街のPRクーポンなどをもっと多く載せてほしい。 	
まとめ①	<ul style="list-style-type: none"> ・商店街の情報が少ないので、宣伝、PRをする。 	3票
まとめ②	<ul style="list-style-type: none"> ・中心街に多目的施設が必要。 	6票
まとめ③	<ul style="list-style-type: none"> ・スタンプラリーなどのイベントを増やす。 	10票
私達にできる事	<ul style="list-style-type: none"> ・プレミアム商品券を購入して使用する事。 	
残したい意見	<ul style="list-style-type: none"> ・世代の幅関係集まれる場所を多く提供してほしい。 	

【Bグループ 討議内容】

テーマ1 千歳市の中心市街地地区に賑わいを作ろう！	グループB	
	<ul style="list-style-type: none"> ・週末ごとに、軽トラ等で新鮮野菜の販売。 ・若くして商店をしてみたい人に空き店舗を安く貸し出す。 ・大型店舗()、コンビニの中間位の大きさの商業施設の建設。 (イオンのマイバスケットのようなもの)。 ・錦町町36号線沿いに道の駅をつくる。 ・グリーンベルトの駐車場は面倒なのでタウンプラザを中心に区画整理をした方がよい。 ・植樹を地域住民の清掃参加でジュースやおにぎりの謝礼など。 ・小さなお子さんを連れて参加できるコンサートや催事。(クラシック等) ・帯広や苫小牧にならって屋台村を中心街に設置する。 ・核になる店舗。(千歳タウンプラザに入ってもら) ・中心街に行く為の交通機関を充実させる。 ・福祉施設等を中心街に建設する。 ・イベント、カラオケ大会。 ・バス路線の経路を分かりやすく。 ・駐車場を造る。(車社会です) ・児童施設を空き店舗等に。 ・商店街でパリのカフェのような雰囲気を作ってみる。 (外で食べたり飲んだりする。) 	
まとめ①	<ul style="list-style-type: none"> ・人を集めるイベントを開始する。 	14票
まとめ②	<ul style="list-style-type: none"> ・交通網の整理。 	7票
まとめ③	<ul style="list-style-type: none"> ・千歳タウンプラザに店舗を誘致する。例えば屋台村。 	13票
私達にできる事	<ul style="list-style-type: none"> ・意見交換やボランティアを含めて。 	
残したい意見	<ul style="list-style-type: none"> ・区画整理。 	

【Cグループ 討議内容】

テーマ1 千歳市の中心市街地地区に賑わいを作ろう！	グループC	
	<ul style="list-style-type: none"> ・接客、話しやすい店。大型店舗にはない対応のできる店。 ・店に入店しづらい。話にくい。 ・物だけでなく、人物も売りにする。 ・若者を中心としたデートスポット及び観光スポットの設置強化。 ・入店しやすい店。 ・商店街ごとに特色があると目的を持って行こうと思える。 ・癒しが流行っている今だからこそその自然を生かしたマチづくりをする。 ・昔ながらの喫茶店を大きな公園側につけてほしい。 ・駐車場が無く、行く手段が限られる。 ・個店の駐車場の利用(設置)を考える。 ・平日は仕事がある為、商店の営業時間に行けない。 ・実例ですが駅や人が集まる場所に大きくMAPがあれば、行こうと思える。 ・商店以外の物があるかついで買い物や店舗の発見があるかもしれない。 ・公共駐車場を作る。商店街ごとに必要。 ・入店しやすい商店街→オープン化→広い入口→統一の建物。 ・高齢者の歩きやすいマチ。病院→調剤→商店街。 ・大きな分かりやすいデザインや色の建物。 ・一定の人の流れを作る。→公共施設→商店街→ターミナルなど。 	
まとめ①	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場の確保。(大型であるのが望ましい) 	7票
まとめ②	<ul style="list-style-type: none"> ・商店街に対しての表示。(カントリーサインや特色を出した方が良い) 	8票
まとめ③	<ul style="list-style-type: none"> ・商店に入りやすい、店作り接客。 (各店に特色あると良い) 	6票
私達にできる事	<ul style="list-style-type: none"> ・個々での情報発信。 	
残したい意見	<ul style="list-style-type: none"> ・若者を中心とした、デートスポットや観光名物の強化。 	

【Dグループ 討議内容】

テーマ1 千歳市の中心市街地地区に賑わいを作ろう！	グループD	
	<ul style="list-style-type: none"> ・サーモンパークの近くにある交通公園の整備をした方が良いのではないだろうか？ ・バスの便が悪い。JRとの乗り継ぎの悪さ。Bバスと中央バスの時間が同じような時間になっている為。 ・青葉公園を歩く道路に木から毛虫が落ちて体にたくさんつく。 なんとかしてほしい。 ・バスの時刻表の見方が分からない。ビーバスは分かりやすいけど運行している範囲が狭い。 ・バスの便利が不便 ・一品一村千歳市がない物。(ハスカップ) ・街に人々が出やすくなる為の駐車場を作る。 ・商店街で計画して祭り等のイベントを多くして人を集める。 ・無料駐車場を設置する。 ・千歳内の各商店街、季節事に各々イベントを実施する。 ・千歳タウンプラザが寂しい。千歳タウンプラザにお店があった方が良い。 ・イオン大型店舗がありそこを行けばなんでも出揃っていて人が集まる。 食事もある。 	
まとめ①	<ul style="list-style-type: none"> ・バスの便利が良ければ買い物等に出る。 	14票
まとめ②	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車が有料の為、素通りする。 	
まとめ③	<ul style="list-style-type: none"> ・一か所に色々なお店があると楽しい。 	
私達にできる事	<ul style="list-style-type: none"> ・市民として参加、協力する事の心がけが大事。 	
残したい意見	<ul style="list-style-type: none"> ・千歳の特産物、各商店街等で季節に応じたイベント。 	

【Eグループ 討議内容】

テーマ1 千歳市の中心市街地地区に賑わいを作ろう！！	Eグループ	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駅前の充実。 ・ 駐車する場所がない。 ・ グリーンベルト内にドッグランが欲しい。 ・ 大きな公園。青葉公園も大きく良いのだが中心街から遠い。 ・ 子供と一緒に入れるお店がほしい。(服屋さん) ・ 子供が安心して集まり遊べる場所。 ・ 子供だけで安心して遊べる場所。 ・ 「憩う場所」集客力のあるソフトの雇用。(イベント等) ・ 千歳駅周辺をもっと華やかに。 ・ 全店舗の無料開放日を作って(お r 安い場所代)ビギナー店主屋さんを募集。 ・ 「住む」魅力のある生活環境向上。 ・ 商店街の店先をかざり。 ・ リーズナブルな食事の提供。(ゆっくりいられる) ・ 月1回シャッター街でお祭りのイベント。 ・ イベント、セール。 ・ 中心街のイベントを多くする。 ・ 駐車場が使いやすい。(広い、無料) ・ 地下駐車場が役に立っていない。 ・ 中心街のタウンプラザが賑わう工夫。 	
まとめ①	<ul style="list-style-type: none"> ・ 千歳駅周辺の環境充実。 	5票
まとめ②	<ul style="list-style-type: none"> ・ グリーンベルト内に、子供、ペットが安心して過ごせる魅力ある公園を！ 	6票
まとめ③	<ul style="list-style-type: none"> ・ 空店舗を活用した憩う場所。 	3票
私達にできる事	<ul style="list-style-type: none"> ・ お年寄りに優しく、子供達に目を配る。 ・ 各イベントのチラシを作成、配付の実施。 	
残したい意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ ドッグランを中心地に作ってほしい。 	

【Fグループ 討議内容】

テーマ1 千歳市の中心市街地地区に賑わいを作ろう！！	グループF	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 知り合いから美味しいお店とか口コミで情報が入ると出かける事が出来る。 そもそも地域の店の事を知らない。 ・ 情報 ・ 情報の共有 ・ グリーンベルトの意味 ・ 若者を集める。若者に魅力のあるマチづくり。 ・ タウンプラザの利用。沢山の人が集まってくれる事。 ・ 子供達が遊べる場所。 ・ 商店独自の飲食店 ・ 買い物はイオンで用事が済む。駐車場も広い。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 商店街の事も知らないし行ってない。 ・ 大きな書店を作るべき。レンタルビデオ店。 ・ 元のアンケートで週末にオープンカフェをやってほしい。 ・ 施設 ・ フリーマーケットの開催。タウンプラザの前の広場を使って。 ・ 情報の発信→広報の必要性。インターネットの活用。地域情報誌 ・ 子供も楽しい。 ・ 地域に求める物は人の交流。買い物は車で何処にでもいける。 人との関係を持ちたい。 ・ 企画、イベント。 ・ 夏祭りは今のままで継続。盛り上がっていて楽しいです。 ・ 出会い場みたいな企画が欲しい。(店&地域住民) 	
まとめ①	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報を発信しよう！！(広報の必要性→ネットの活用&オリジナル情報誌) 	11票
まとめ②	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子供も楽しい(^^) / (中心街に遊具施設) 	5票
まとめ③	<ul style="list-style-type: none"> ・ 企画&イベントの充実。グリーンベルトの活用。タウンプラザで屋台村等 	7票
私達にできる事	<ul style="list-style-type: none"> ・ イベントのボランティア参加を含め多くの人達に知ってもらう。 	
残したい意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全て。 	

【Gグループ 討議内容】

千歳市の中心市街地地区に賑わいを作ろう！！		グループG
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 空いた店舗は思い切って壊す。 ・ 千歳の特産をもっと前に出す。 ・ 空き店舗の有効活用を促進する。 ・ 車を停める所 ・ 駐車場(気軽に入れる) ・ 空きビルの活用 ・ 個々の経営努力に力を入れる。 ・ 競争し合う。例えばパン屋さんはモリモトという固定的なことではなく選べる様に ・ 一つの商店街を一つの商業施設としていく。 ・ 24時間営業のドンキホーテのようなお店を開店すれば賑わいがでると思う。 遠くて通えない方もいるので無料バスをつくってほしい。 ・ 市の中心街で軽トラを利用して野菜の販売をする。 ・ 空き店舗、空きビルを格安で長期利用できるようにする。 ・ 店舗 ・ バスのダイヤルルートを見直す。 ・ 無料バスに老人を買い物に連れ出す。 ・ バスの路線のない郊外に住む高齢者の為に格安料金を利用できるバスを運行する。 ・ 市の中心街に2ヶ月に1回イベントをやる。 	
まとめ①	<ul style="list-style-type: none"> ・ 空店舗、空ビルの積極的活用。格安で長期利用できるようにする。 	4票
まとめ②	<ul style="list-style-type: none"> ・ バス路線のない郊外に住む高齢者の為に格安料金を利用できるバスを走らせる。 	11票
まとめ③	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中心街に駐車場を増やす。 	3票
私達にできる事	<ul style="list-style-type: none"> ・ 積極的に中心商店街を利用する。 	

【Hグループ 討議内容】

テーマ1 千歳市の中心市街地地区に賑わいを作ろう！！	グループH	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ペウレ→歩道橋に屋根がほしい。 ・7つの商店街合同イベントをもう少し工夫した方が良い。 ・駅前にあるペウレの場所が不便なので、一時的にあれば良いという感じです。 ・ペウレの店舗閉鎖が目立つ・ ・今は道の駅を再建築、最初の建築の時点であればよいという造りです。 ・今後はそういう事がない造りをしてほしい。 ・駅前と駅裏の活性化が必要としますので、マチづくりの専門家に参加して頂いていく事を期待します。 ・駅ナカ、カフェ。 ・駅裏をもう少し賑わうような工夫した方が良いのでは。 ・バスセンターの移動者の込み合う今の場所は不便です。狭いので。 ・発想を転換してプールやガーデンをつくる。 ・子供達のイベント等を増やす。 ・特化したイベント。(70歳以上限定とか) ・タウンプラザの活用を(結局あそこはなるのか?) ・共通で楽しめるイベント。 ・防衛庁の買い上げの土地を植樹しておくだけではなく市民駐車場として活用してほしい。 ・地区を絞って愚弟的な意見を出す事が良いと思う。 ・マチを郊外にこれ以上広げない。空き家も目立つようになってきた。 	
まとめ①	<ul style="list-style-type: none"> ・駅前と駅裏の活性化が必要であると考えますので街づくりの専門家に参加して頂いてもらう事を期待します。 	5票
まとめ②	<ul style="list-style-type: none"> ・商店街(7つ)の合同イベント。 ① 70歳以上の限定等。 ② 子供達のイベントを増やす。 ③ コスプレ等の開催。 	5票
私達にできる事	<ul style="list-style-type: none"> ・提案が実現したら積極的に利用する。 	10票
残したい意見	<ul style="list-style-type: none"> ・地区を絞って具体的な意見を出す事が良いと思う。町を郊外にこれ以上広げない。(空き家も目立つようになってきた) ・防衛庁の買い上げの土地を植樹しておくだけではなく市民駐車場として活用してほしい。 	

【I グループ 討議内容】

討議テーマ1 千歳市の中心市街地地区に賑わいを作ろう！！	グループ I	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 空き店舗を利用して例えば恵庭のうおはんみたいな店を作る。 ・ 商店街で名物名産品を作り、空港から地方の旅行客層の獲得。 ・ 若い企業家を考えている方のお手伝い。(ボランティア)後押しやバックアップ。 ・ 商業施設回りの巡回。例 イオン→アークス→長都駅→千歳駅 ・ 空き店舗を減らすため、市と商店街での支度金制度。例えば、家賃半年間半額や低金利での支度金制度など。 ・ 各商店街で名物や名産をつくり、地方の方も来てもらえるように話題をつくる。 ・ 千歳駅前、駐車場施設等の改善。 ・ お客様も札幌に近いのでそちらへ流れる。 ・ 空き店舗をなくす為、支度金制度家賃半年間半額、3ヵ月無料。e t c。 ・ 低金利で支度金ローンなど。 ・ 空き店舗。一斉OPENなどHPでの告知。クーポン特権。 ・ シャッター街が多すぎる。 	
まとめ①	<ul style="list-style-type: none"> ・ 空き店舗を減らす為市と商店街での支度金制度、例えば半年間半額や低金利での支度金ローンなど。 	14票
まとめ②	<ul style="list-style-type: none"> ・ 商業施設巡回のシャトルバス。 (例)千歳駅→イオン→アークス→長都駅。 	2票
まとめ③	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各商店街での名物、名産品を作り、空港から地方の旅行客層の獲得。 	
私達にできる事	<ul style="list-style-type: none"> ・ 若い人で例えば起業を考えている方のバックアップやお手伝い。 (例)ポスター作成やメニューの考案・ 	
残したい意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ まとめ①にある空き店舗物件の再利用です。重複して記載しました。 	

【Jグループ 討議内容】

テーマ1 千歳市の中心市街地地区に賑わいを作ろう！！	グループJ	
	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物する品物がない。少ない。 ・中心街の概念を変えよう。 ・各店セール情報が少ない。 ・タウンプラザ存続させてほしい。営業を将来再開してほしい。 ・商店街の特徴が少ない。(解らない) ・タウンプラザの中を有効活用。子育て支援場 ・タウンプラザに多目的ホールを作り、その中に又は近くで買い物を出来るようにする。 ・商店街の再編成。 ・商店街が分かれている。 ・物が高い。(値段が高い) ・商店街も頑張れ。(商店も個人も) ・子供達が集まる環境を作る。 ・ちとせプレミアム付商品券について参加店をHPで確認するが、PCない方は？ ・若者に意見を聞こう。 ・MPを無料に配布。 ・青空駐車場がない。 ・駐車場がない。 ・駐禁だから車を置いて買い物できない。 ・グリーンベルト周辺にホームを作る。 ・買い物に行きやすい環境を作る。(駐車場等) ・安心できる病院がない。(子供が安心して産めない) ・催事に大いに力を入れよう！若者の集い。新米ママさんの集まり。 ・独居老人の集まり。 ・商店街空室問題の解決。出来るだけ早急に。各商店街1戸ずつ。 	
まとめ①	<ul style="list-style-type: none"> ・若者に意見を聞こう。 ・タウンプラザの活用(ホーム保育園)多目的ホールを作る。 ・商店街の特徴がない。(作る) 	10票
まとめ②	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物する品物が少なく、その上商店街が離れている。 ・店主も頑張れ。(セールなど) ・子供達が集まる環境を作る。 ・ちとせプレミアム商品券の参加店ホームページでは不親切。 	6票
まとめ③	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場が少ない。(青空駐車場) ・トイレがない。 	7票
私達にできる事	<ul style="list-style-type: none"> ・私達の意見を伝える。 	
残したい意見	<ul style="list-style-type: none"> ・町の活性化として町を作り変える事(町の中心化)。商業施設を作る。 	

【Kグループ 討議内容】

テーマ1 千歳市の中心市街地地区に賑わいを作ろう！！	Kグループ	
	<ul style="list-style-type: none"> ・グリーンベルトの有効活用。 ・イベントやフリーマーケットを定期的に開催。タウンプラザに屋台村を作る。 ・残したい意見として、住民の意識改革→家の前の花の水やり草取りでもOK。 ・タウンプラザを展示会場に ・屋台村を開催。 ・本人の意識改革 ・空港前の植込。千歳駅前、支笏湖通。 ・作ったものを伝える事が大切→発信方法の検討。 ・ホームページ以外にも高齢者にも分かりやすく、町内会での閲覧板等の周知活用。 ・中心街のグリーンベルトの利用。 ・千歳の特産品を集約する場所を作る。 ・雨天時や冬など屋内で遊べる施設がほしい。 ・居酒屋やファミレスなど外食の場で、キッズスペースを増やしてほしい。 ・グリーンベルトで色々なイベントやお祭りを定期的に開催する。 ・専業主婦にとっては小さな子がいて働ける場所が少ないので大きなフリーマーケットがほしい。 ・映画館をつくる。 ・芸術の街。ニューヨークのSOHOみたいな。 ・中心街に(子供が行きやすい場所)映画館を作る。 	
まとめ①	<ul style="list-style-type: none"> ・魅力の創出、発信。 ・本元と出会えるマチづくり。 	5票
まとめ②	<ul style="list-style-type: none"> ・既存施設の有効活用。ビアガーデン、グリーンベルト、タウンプラザの定期的イベント誘致。 	10票
まとめ③	<ul style="list-style-type: none"> ・子供の為のまちづくり。 ・キッズスペースの確保。屋内で遊べる施設。 	11票
私達にできる事	<ul style="list-style-type: none"> ・消費拡大への貢献。 ・ボランティアでの貢献。 	
残したい意見	<ul style="list-style-type: none"> ・住民意識改革。マチの美化への参加 	

【Lグループ 討議内容】千歳市の中心市街地地区に賑わいを作ろう！！

テーマ1 千歳市の中心市街地地区に賑わいを作ろう！！	グループL
	<ul style="list-style-type: none"> ・子供を連れて遊びに行ける場所。 ・中心市街地の空き地に住宅を建設出来るようにする。 ・スポーツクラブ。温泉などの目的のある施設が欲しい。 ・友達とわいわい。集まれるスペースが欲しい。 ・ショッピング。景気に合った価格。買いやすく、楽しい。 ・安くて美味しい。満足できるお店があれば良い。 ・お店が小さいとそれぞれ行くのは大変で、大きなお店行きやすい。 ・24時間営業のファミレスが欲しい。 ・家賃が高い→買い物等に使えるお金が減ってします。 ・駐車場があればいきやすくなる。 ・バスで中まで行ければ良い。
まとめ①	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物以外の目的で行ける施設を誘致する。(温泉、スポーツクラブ) <p style="text-align: right;">8票</p>
まとめ②	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場の整備。既存の駐車施設が分かりにくい。 <p style="text-align: right;">1票</p>
まとめ③	<ul style="list-style-type: none"> ・若い世代が住みやすい環境づくり。 (住宅、マンション建設、それに伴う施設の建設) <p style="text-align: right;">7票</p>
私達にできる事	<ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地地区にどうしたらお店があるのか関心をもつ。 →積極的な利用につなげる。
残したい意見	<ul style="list-style-type: none"> ・飲み屋さん以外に遅くまで営業ごはんを食べるところが欲しい。 (ファミレス、定食屋など)

討議テーマ2

【Aグループ 討議内容】

テーマ2 千歳の河川流域の環境問題を考えよう！	グループA	
	<ul style="list-style-type: none"> ・川にゴミを捨てない。 ・ゴミ対策 ・イベントなど開催して水質など水の重要性を教える機会を設ける。 ・キャンプを実施して自然の大切さを体感してゴミを持ち帰る。 ・口コミで市民、国内、世界に伝えよう。 ・水質が汚染されて自然環境がどの様に変えるかなど日頃から接する機会を設ける。 ・水質 ・ゴミステーションを設置してポイントをもらう様にしたらどうか。 ・イベント開催により市民と川を近づけ親しむ。 ・美しい千歳川を認識しましょう。(市民) ・花を植えて綺麗にする。 ・不法投棄をしない様にリサイクルステーションなどを増やす。(ホームマック) ・イベントの時にゴミ拾いをすれば何か良い事があるかもしれない。 ・川に親しむ人が集まる。イベントなど。 ・子供を連れて川の危険性を教える。 	
まとめ①	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミ対策。 ・リサイクルステーションを増やす。(ホームマックなど) ・グリーンリバーへの参加。 	15票
まとめ②	<ul style="list-style-type: none"> ・川に親しむ ・人が集まるイベント。 ・子供を連れて川の危険性を考えよう。 ・キャンプ、花、音楽。 	13票
まとめ③	<ul style="list-style-type: none"> ・水質。 ・生態系を壊さない。 ・水質を学ぶ機会を増やす 	4票
私達にできる事	<ul style="list-style-type: none"> ・口コミで市民、国内、世界に伝えよう。 ・ゴミを捨てない。イベントへの参加。 	
残したい意見	<ul style="list-style-type: none"> ・きれいな千歳川をいつまでも。千歳川のイメージを千年まで残したい。 	

【Bグループ 討議内容】

討議テーマ2 千歳の河川流域の環境問題を考えよう！	グループB	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 不法投棄の法以外にも市町村の条例として罰則の強化。 ・ 綺麗な川を保つ。 ・ 不法投棄の罰則についてアピール。CM、ポスターなど。 ・ 千歳川の不法投棄防止のポスター。(子供達の絵の公募等で決める) ・ 河川に汚水を流さない。 ・ 親子で水イベントを実施して河川を楽しむ。 ・ 災害に強い河川にする。(樹木等の手入れ) ・ ボランティアで不法投棄の監視。 ・ 釣り人のマナー向上。 ・ ゴミ減少の為、マナー向上を。 ・ 看板設置等設置を増やす。 ・ 皆で清掃ボランティアに参加する。 ・ 川の中州の清掃をする。 ・ 千歳の河川にゴミを無くす。 	
まとめ①	<ul style="list-style-type: none"> ・ 不法投棄について広報、ポスターなどを使ってアピールする。 	12票
まとめ②	<ul style="list-style-type: none"> ・ イベント等でマナーの向上について訴える。 	8票
まとめ③	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国の法律以外にも河川流域の市町村と協力し条例を作り罰則強化。 	3票
私達にできる事	<ul style="list-style-type: none"> ・ 清掃ボランティアへの参加。 	1票
残したい意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個人や企業へのマナーの指導強化。 	3票

【Cグループ 討議内容】

討議テーマ2 千歳の河川流域の環境問題を考えよう！		グループC
<ul style="list-style-type: none"> ・名水百選を守る為ゴミ拾いをしないよう看板設置を増やす。 ・監視カメラの設置を増やす。 ・川遊び。ラフティング、カヌーなどを実施する場所作り。 ・河畔の小公園。遊歩道の整備。子供の水遊び。子供の釣りの出来る環境作り。 ・もっと目立つ場所に環境ポスターを設置する。 ・河川のパトロール ・千歳川の良さを広め汚さない意識を定着させる。 ・地域住民のボランティアパトロールの実施。 ・高齢者の方には、水藻や木等を増やす団体を作ってほしい。 ・河川の整備及び清掃。主に上流地域。 ・年に3回川の清掃 ・川の清。(草刈、ゴミ拾い) ・多くの人が集まらないのが問題であれば事例隊等の公務員に青年団の呼びかけをする。 ・容量の大きなゴミ箱を設置する。 ・お祭りのゴミ箱ももっと目立つ場所に置く。 		
まとめ①	・千歳川を名水百選に。	13票
まとめ②	・地域住民のボランティアによるパトロール、監視カメラの設置。	6票
まとめ③	・親子で川遊び、川で学ぶ。	8票
私達にできる事	・川を汚さない。	
残したい意見	・河川公園の整備、BBQが出来るルールを考える。	

【Dグループ 討議内容】

討議テーマ2 千歳の河川流域の環境問題を考えよう！	グループD	
	<ul style="list-style-type: none"> ・直接美々に大型ゴミを持ち込む。 ・誰が見ても、千歳川の橋の上を見て水の底が見えると気持ちが良い。 ・千歳川はサケが上るインディアン水車として知られています。観光資源の一つ。 ・大型ゴミが何キロでおいくらかはっきりと書いている物を配布する。 ・一級河川を大切に。 ・千歳川と清流を保つには徹底してゴミを捨てないように注意を全町内に徹底を促す。 ・千歳の河川を親しむ為イカダ流しをもう一度。(仮想イカダ流し大会) ・町内会などで人を集めて河川敷のゴミ拾いをする。 ・川に川の鳥を呼びこもうとする運動をする。看板やチラシを配布して。 ・大型ゴミの回収を無料にする。 	
まとめ①	<ul style="list-style-type: none"> ・大型ゴミを回収しやすくする。 (町内会で集めてトラックで運ぶなど) 	11票
まとめ②	<ul style="list-style-type: none"> ・イカダ流しなど川と触れ合う機会をつくる。 (川をきれいにしようとする気持ちを知る) 	5票
まとめ③	<ul style="list-style-type: none"> ・いつまでもきれいな川にする。(サケがいなくなる) 	4票
私達にできる事	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミ拾いに参加する。 	
残したい意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミを美々に持っていく。 	

【Eグループ 討議内容】

討議テーマ2 千歳の河川流域の環境問題を考えよう！	グループE	
	<ul style="list-style-type: none"> ・川でイベントして川との関わりを増やす。 ・捨てやすい場所にリーラ付の電気をつける。 ・環境整備。市民による川清掃。ボランティアによる河川巡回。 ・不法投棄の防止。 ・千歳川の事を市民にPRして大事にする気持ちを育む。 (子供達に学校の授業で各学校ごとにパトロールを兼ねて) ・遊び。川と親しめるイベント行事。水遊びが出来る公園の整備。 ・有料粗大ごみの無料！リサイクル業者と提携。 ・川を身近に感じるイベント多くする。 ・川の周辺を明るく。 ・カヌー、ボートなどで川と親しむ。安くしてほしい。 	
まとめ①	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育による環境教育の充実。(川の良さ悪さを体感してもらう！！) (学校の授業で子供の頃から学ぶ)(事故防磁の為の知識を高める) 	13票
まとめ②	<ul style="list-style-type: none"> ・水と親しむ為の川でのイベント。(短い期間の有効活用) 	3票
まとめ③	<ul style="list-style-type: none"> ・環境整備。(市民による河川の清掃)川周辺の外灯(ソーラー)設置 (防犯の為)(不法投棄の防止) 	10票
私達にできる事	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミの不法投棄をしない！！ ・クリーン大作戦の回数を増やす。 ・地域住民との交流、コミュニケーションを取る。 	
残したい意見	<ul style="list-style-type: none"> ・名水百選の名を残す。サケがこれから先も帰ってくる綺麗な川を保ち、守り続ける。 	

【Fグループ 討議内容】

討議テーマ2 千歳の河川流域の環境問題を考えよう！	グループF	
	<ul style="list-style-type: none"> ・教育 ・レジャー施設、川遊び、キャンプ場 ・学校で教育する。川をきれいに。 ・釣りを楽しむ。安全は担保させているか？ ・ハードウォッチング。自然観察。 ・サーモンパーク啓蒙活動展示。 ・安全施設 ・ゴミを捨てない ・環境 ・千歳川は綺麗なのでシンボルの川を清掃する。 ・ゴミ拾い。市民ボランティア。学校ごとで。 ・パトロールの強化。 ・川の下に降りられる階段の草刈。 ・住民はボランティアでゴミ拾いをする。 ・ゴミ拾いのポイント制度。特典をつける。 	
まとめ①	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミを捨てない。雑草の清掃。カメラの設置。 ・パトロールの強化、ポスター。 	5票
まとめ②	<ul style="list-style-type: none"> ・学校での教育。サーモンパーク訪問活動。ハードウォッチング自然観察。 ・千歳のシンボルの川をきれいに。 	5票
まとめ③	<ul style="list-style-type: none"> ・安全施設。安心して川遊び、キャンプ場。 	3票
私達にできる事	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミが絶対捨てない。ゴミを拾う。市が音頭をとってクリーンキャンペーンを実施して市民としてのモラルをもつ。 	
残したい意見	<ul style="list-style-type: none"> ・千歳のシンボルの川をいつまでもきれいに保ち続けて次の世代に受け継いで頂きたい。 	

【Gグループ 討議内容】

討議テーマ2 千歳の河川流域の環境問題を考えよう！	グループG	
	<ul style="list-style-type: none"> ・千歳川流域にある町内会によるゴミの監視をする。 ・看板設置。 ・協力者への感謝等をする。又、新聞や広報で公開。 ・千歳川流域のゴミ拾い清掃の回数を増やす。 ・監視カメラをつける・ ・行政の協力の上で無作為抽出した市民に報酬を支払いして清掃活動を定期的に実施する。 ・千歳川流域でのBBQの後始末を利用者に周知徹底する。 ・条例等の厳罰化と周知。 ・年間を通して決まったボランティアを募り定期的に清掃。 (ある程度有料) ・中、高、大の清掃ボランティア。 	
まとめ①	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア等を定期的に集い、清掃活動を行い参加者には、感謝状等の何らかの御礼をする。 	6票
まとめ②	<ul style="list-style-type: none"> ・不法投棄の多い場所に監視カメラの設置。 	4票
まとめ③	<ul style="list-style-type: none"> ・警告看板の増設。 	4票
私達にできる事	<ul style="list-style-type: none"> ・不法投棄を発見したら、積極的に通報する。 	2票
残したい意見	<ul style="list-style-type: none"> ・罰則の強化とその周知。 	

【Hグループ 討議内容】

討議テーマ2 千歳の河川流域の環境問題を考えよう！	グループH	
	<ul style="list-style-type: none"> ・千歳川の湧水をペットボトルで販売。もっと千歳を清流のマチとしてPR。 ・野鳥のえさやりを禁止する。 ・千歳市の鳥、ヤマセミが観たい。(カワセミ、アカショウビン) ・ラフティングの出来る環境を整備し、人を呼び込む様にした方は良い。 ・きれいな川を特徴としてラフティングをもっと増やして人を呼び込むと良いと思います。川沿いに遊歩道延長すると良いと思います。 ・千歳川には手をつけないで、このまま自然を残す。NO開発。 ・子供達が安全に川に触れる事はできる環境作り。 ・千歳川の環境はてを加えず、今の自然のままを維持する。 ・川側の方の木や雑草を刈る事はした方が良いと思います。 ・河川敷の雑草の整備。(ゴミ捨ての要因になるのでは) ・雑草などが多い為、ゴミを捨てやすい環境にある。 ・遊歩道の延長。 ・川沿いを散歩する際に途中で橋をかけてもらおうと1周できる。 	
まとめ①	<ul style="list-style-type: none"> ・環境、河川敷の雑草の整備。 	5票
まとめ②	<ul style="list-style-type: none"> ・景観、遊歩道を延長してほしい。 	14票
まとめ③	<ul style="list-style-type: none"> ・自然保護 千歳川には手を付けないでこのまま自然を残す。 	
私達にできる事	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミ清掃や捨てない意識を高める事を子供達に伝えていく。 	
残したい意見	<ul style="list-style-type: none"> ・川を利用しての遊び。(ラフティングやフットバスが出来る設備) 	

【I グループ 討議内容】

討議テーマ2 千歳の河川流域の環境問題を考えよう！	グループ I	
	<ul style="list-style-type: none"> ・白鳥を観た事がありますが、もう少しそのような水鳥が来られるような環境作りをしていきたい。 ・子供の教育の一環に各小学校でゴミ拾い。(河川敷) ・安心、安全に遊べる河川敷マップの作成。(管理人常駐希望) ・子供が安心して遊べる河川敷を明確にしてほしい。 (今現在遊べる場所が分からない。) ・河川敷の美化と千歳川への市民意識の改革。 ・不法投棄看板等を数多く設置する。 ・ゴミを廃棄している人がいたら即刻罰金制度。 ・家電リサイクル料金・負担制度。 ・各所に観し灯をつけてみては。 ・河川敷等定期的に清掃を実施し子供達が安全に活動できる環境を作る。 ・季節により川渚に花壇(お花を変えて植えてみる) ・家電リサイクル料金の負担制度や相談窓口を設置する。それでも不法投棄する人がいたら罰金の窓口を考えてほしい。 ・河川敷のパトロールや草刈やゴミ拾いを定期的を実施。 ・河川敷等に定期的に市民の憩いの場出来るように季節のお花があると良いと思います。 ・安心して子供達が遊べたりする環境を作る為にマップ作りと学校側でのゴミ拾いの協力をお願いしたい。 	
まとめ①	<ul style="list-style-type: none"> ・安心して子供達が遊べたりする環境を作る為、マップを作りと学校側でのゴミ拾いの協力をお願いしたい。 	5票
まとめ②	<ul style="list-style-type: none"> ・河川敷等に定期的に市民の憩いの場出来るように季節の花があると良いと思います。 	3票
まとめ③	<ul style="list-style-type: none"> ・家電リサイクル料金の負担制度や相談窓口を設置する。それでも不法投棄をする人がいたら罰則の窓口を考えてほしい。 	6票
私達にできる事	<ul style="list-style-type: none"> ・河川敷のパトロールや草刈やゴミ拾いを定期的に行う。 	
残したい意見	<ul style="list-style-type: none"> ・河川敷の美化と千歳川への市民の意識改革。 	

【Jグループ 討議内容】

テーマ2 千歳川河川流域の環境問題を考えよう！	グループJ	
	<ul style="list-style-type: none"> ・河川、草刈を今より1、2回位増やす。 ・サイクリングロード→歩く所はきれい→その淵、草村(草刈、汚い。) ・投棄者に対して市条例(無ければ)の設置と強化、反則金が安ければ上げる ・散歩中のペットの汚物の持ち帰る方が少ないように見える。 ・有料ゴミ(粗大ごみ)代金が高い。不法投棄に繋がる。 ・モラルの向上。(学校側、家庭)等で教育指導の実施。 ・ゴミ拾い活動の実施。(町内会、企業)年1回。 ・川辺にベンチ又はあづま家の設置。 ・バードウォッチング(小鳥の住む)観察会の実施。 ・河川周辺に防犯カメラの設置。 	
まとめ①	<ul style="list-style-type: none"> ・モラル向上。 ・学校職場、家庭教育指導の実施。 ・ペットの汚物の持ち帰りをするように廻りが注意する。 	8票
まとめ②	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミ拾い活動の実施。(町内会、企業市民が参加する) ・草刈を今より1回多く実施する。(歩道横の草刈も含む) ・有料ゴミ。(粗大ごみ、代金を下げる)(不法投棄防止) 	8票
まとめ③	<ul style="list-style-type: none"> ・川辺にベンチにベンチ又はあづま屋の設置をする。防犯カメラの設置。 ・バードウォッチング。小鳥の住む観察会の実施。 ・投棄者に対し、市条例が無ければ設置、今日かする。 	6票
私達にできる事	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミ拾い等へのボランティアへの積極的に参加する。 	1票
残したい意見②	<ul style="list-style-type: none"> ・モラル向上にむけの学校、職場、家庭での教育の実施。 	

【Kグループ 討議内容】

テーマ2 千歳の河川流域の環境問題を考えよう！	グループK	
	<ul style="list-style-type: none"> ・川に関わるイベントを行い、人を集める。 ・千歳川市内の河川情報をより分かりやすく。 ・イベントのPR不足。 ・川で人が集まれるイベントを考える。 →親子連れメインにしてスタンプラリー→楽しんで勉強出来るように ・企業協賛を募り定期的な清掃活動。 ・照明、カメラの設置。 ・拾ったゴミをすぐに捨てることのできるゴミ捨て場を作る。 	
まとめ①	<ul style="list-style-type: none"> ・川について知る機会をつくる。 	9票
まとめ②	<ul style="list-style-type: none"> ・市民企業が協力しやすい体制をつくる。 	3票
まとめ③	<ul style="list-style-type: none"> ・川に関するイベントのPR不足！！ 	7票
私達にできる事	<ul style="list-style-type: none"> ・関心をもつ。努力する。 	
残したい意見	<ul style="list-style-type: none"> ・川に直結するイベントでより関心を作り出す。 	

【Lグループ 討議内容】

テーマ2 千歳の河川流域の環境問題を考えよう !	グループL	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 沢山の人に来てもらえるような川にする。 ・ 小さい頃からボランティア活動を通じて川に関心を持ってもらう。 ・ 川で遊べる空間を作る。 ・ 不法投棄の罰則を強化。 ・ ゴミの捨てた方に関する情報を市民に提供する。 ・ 水質に関する情報を市民に提供する。 ・ マチを上げて「名水百選」運動を行う。 ・ 千歳川がきれいな川である事をもっとPRする。 ・ 千歳川の監視を強化する。 ・ 柵を設けて川に近づかないようにする。 ・ 綺麗な水に自信をもつ。→きれいにしなければいけない意識を持つ。 ・ コンビニにゴミ箱がなくなった。 	
まとめ①	<ul style="list-style-type: none"> ・ 千歳川の水はとても、きれいな水だという意識を持つ。 →水質情報の提供、学校での環境学習の実施。 	6票
まとめ②	<ul style="list-style-type: none"> ・ ゴミの捨てられやすい箇所に対する対策。 →柵の設置・監視カメラの設・除草を行う。 	5票
まとめ③	<ul style="list-style-type: none"> ・ ゴミの捨て方に関する情報を市民に伝える。 →川に捨てるという選択をさせない。 	4票
私達にできる事	<ul style="list-style-type: none"> ・ 千歳川を大事にする。→ゴミ拾いの実施。イベントの参加。 ・ 自分達がそういったモラルに反する事を行ってはいけないと振り返る。 →ちょっとだからいいじゃないという行動をしていないか？自分の住まいだと思って考える。 	2票
残したい意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 川に人が集まる事で関心が生まれる→きれいにしようという気持ちに繋がる。 ・ 名水百選を目標にしてまちおこしを行う。 ・ 川を遊べる空間にできるようにする。(昔、遊んだ頃のように) 	

3、千歳市民討議会提言

(1) 千歳市民討議会実行委員会での調査・研究

千歳市民討議会実行委員会を開催し討議結果をもとに、提言を作成いたしました。

- 開催日時 平成27年9月10日(木)
- 開催場所 千歳商工センター2階大会議室
- 参加者 千歳市1名
一般市民10名(市民討議会参加者)
千歳市民討議会実行委員会9名
千歳青年会議所メンバー23名

(2) 討議会投票結果と提言

【討議テーマ1】

千歳の中心市街地地区の賑わいについて考えよう！

順位	まとめ	投票数
1	・空き店舗を減らす為市と商店街での支度金制度、例えば半年間半額や低金利での支度金ローンなど	14票
1	・バスの便利が良ければ買い物等に出る。	14票
1	・人を集めるイベントを開始する	14票
4	・千歳タウンプラザに店舗を誘致する。例えば屋台村	13票
5	・バス路線のない郊外に住む高齢者の為に格安料金で利用できるバスを走らせる	11票
5	・情報を発信しよう！！(広報の必要性→ネットの活用&オリジナル情報誌)	11票
5	・子供の為のまちづくり。キッズスペースの確保。屋内で遊べる施設	11票
8	・提案が実現したら積極的に利用する	10票
8	・スタンプラリーなどのイベントを増やす	10票
8	・既存施設の有効活用。 ビアガーデン、グリーンベルト、タウンプラザの定期的イベント誘致	10票
8	・若者に意見を聞こう ・タウンプラザの活用(ホーム保育園)多目的ホールを作る ・商店街の特徴がない(作る)	10票
12	・商店街に対しての表示。(カントリーサインや特色を出した方が良い)	8票
12	・買い物以外の目的で行ける施設を誘致する。(温泉、スポーツクラブ)	8票
14	・若い世代が住みやすい環境づくり。(住宅、マンション建設、それに伴う施設の建設)	7票
14	・交通網の整理	7票
14	・駐車場の確保(大型であるのが望ましい)	7票
14	・駐車場が少ない(青空駐車場)。トイレがない。	7票
14	・企画&イベントの充実。グリーンベルトの活用。タウンプラザで屋台村 ETC	7票
19	・グリーンベルト内に、子供、ペットが安心して過ごせる魅力ある公園を！	6票
19	・商店に入りやすい、店作り接客(各店に特色あると良い)	6票
19	・中心街に多目的施設が必要	6票
19	・買い物する品物が少なく、その上商店街が離れている ・店主も頑張れ(セールなど)。子供達が集まる環境を作る ・ちとせプレミアム商品券の参加店ホームページでは不親切	6票
23	・子供も楽しい(^)/ (中心街に遊具施設)	5票
23	・千歳駅周辺環境充実	5票
23	・商店街(7つ)の合同イベント ① 70歳以上の限定等②子供達のイベントを増やす③コスプレ等の開催	5票
23	・駅前と駅裏の活性化が必要であると考えますので街づくりの専門家に参加して頂いてもらう事を期待します。	5票
23	・魅力の創出、発信、本物と出会うまちづくり	5票
28	・空店舗、空ビルの積極的活用。格安で長期利用できるようにする。	4票
29	・中心街に駐車場を増やす	3票
29	・空店舗を活用した憩う場所	3票
29	・商店街の情報が少ないので、宣伝、PRをする	3票
32	・商業施設巡回のシャトルバス (例)千歳駅→イオン→アークス→長都駅	2票
33	・駐車場の整備。既存の駐車施設が分かりにくい。	1票

【討議結果の検証項目】

1. 商店街の活性化について 1位

(1) 商店街の空き店舗について

① 討議意見集計 ② 現状 ③ 考察

(2) 賑わいづくりの方法について

① 討議意見集計 ② 現状 ③ 考察

(3) 商店街に対しての要望

① 討議意見集計 ② 現状 ③ 考察

2. 交通網について 2位

(1) バスの利便性

① 討議意見集計 ② 現状 ③ 考察

(2) 駐車場に関して

① 討議意見集計 ② 現状 ③ 考察

3. イベントについて(市内) 3位

① 討議意見集計 ② 現状 ③ 考察

※ 討議結果の上位3位について、市民意見の検証を行いました。

1. 商店街の活性化について 1位

(1) 商店街の空き店舗について

① 討議意見集計

- ・ 空き店舗を減らす為、市と商店街での支度金制度、例えば半年間半額や低金利での支度金ローンなど。
- ・ 空いた店舗は思い切って壊す。
- ・ 既存施設の有効活用。ビアガーデン、グリーンベルト、タウンプラザの定期的イベント誘致。
- ・ 若者に意見を聞こう。タウンプラザの活用(ホーム保育園)多目的ホールを作る。商店街の特徴がない(作る)
- ・ タウンプラザにレジャスポのようなスポーツ、ゲーム、カラオケ、楽器演奏、マッサージチェア、漫画喫茶、ボウリング場など遊べる店を出店する。
- ・ 中心街に多目的施設が必要。
- ・ 高齢者と若い人の交流の場として、気軽に集まるような場がたくさんあれば。
- ・ 空店舗、空ビルの積極的活用。格安で長期利用できるようにする。
- ・ 若くして商店をしてみたい人に空き店舗を安く貸し出す。
- ・ 指導施設を空き店舗等に。
- ・ 空店舗を活用した憩う場所。

②現状

- ・空き店舗を積極的に活用する為に、支度金制度を導入してほしいとの声が一番の多数票でありましたが、千歳市と千歳商工会議所で中心市街地の商店街において、空き店舗を活用し新たに開業する場合や商店街の賑わい創出など魅力的な商店街づくりを推進する事業などに要する経費の一部を、予算の範囲内で支援する事を目的に補助金支援制度を導入しております。補助金額については、上限120万円(対象経費の二分の一の補助)となっております。又、対象経費の項目ですが、①家賃(1ヵ月5万円限度)、②印刷費、③通信費、広告費等となっております。更には、若年者を正規雇用した場合に1事業者1回限り15万円を補助する雇用奨励補助制度もあります。若年者の対象については、正規雇用された月に千歳にすんでいて3ヶ月以上継続して勤務している39歳以下の従業員となっております。昨年度の申請件数が2件。(飲食店2件)今年度についての申請3件(NPO法人1件、飲食店1件、中古売買店1件)となっており、今年度の補助金は上限に達した為に募集は終了。補助金を利用した店舗についての現況は、千歳商工会議所HPや、広報千歳には、公表はされていません。

③考察

- ・中心市街地の空き店舗の補助金制度を導入が、中心市街地の活性化と繋がっているかというのは、現況市民の目線からは、把握できない状況です。又、事業者に一過性の補助金を利用してもらい中心市街地で店舗を継続してもらおうという確証もありません。補助金=中心商店街の活性化に結びつけるというのはシナリオを描くという事は難しいと判断します。討議結果の「私達のできる事」から、商店街店舗のボランティア支援をしていきたいという声があった事から、ボランティアスタッフを募り、千歳市民と商店街の継続的な繋がりを形成し中心市街地に新たな賑わいをもたらす必要はあると考えます。

また、既存の空き店舗状況ですが、仲の橋商店街、駅前商店街は、ペウレ等の大型テナントが多く、飲食店などのテナントが少ないため立地条件を求める会社や一般企業向けのオフィスの貸店舗を対象に賃貸を募集しているテナントが多くあります。新橋商店街に関しましては、空き店舗の賃貸価格が手頃な点が魅力ですが、築年数が古く老朽化しているので、入居時のリフォーム費用がその後の補修等のトラブルも考えられる可能性もあります。

空き店舗の傾向としては、築年数が古い飲食店向けのテナントが多く、店舗向けのテナントは、少ない状況です。又、建物の老朽化による修繕費用のリスク回避の為に空き店舗のテナント募集を停止しているので、実体の空き店舗数よりテナント募集は少ない傾向です。空き店舗を有効活用しようという声は多数ありましたが、テナントについて思いのほか多くはないと考えます。この状況を踏まえて、中心市街地の老朽化した空き店舗については、中心市街地で問題となっている空き店舗の有効活用については、中心市街地で問題となっている空き店舗の有効活用については、7つの商店街、住民ごとに事業計画を立てて頂き、その解決策について行政が取りまとめをして頂く必要があると考えます。

(2)賑わいづくりに方法について

① 討議意見集計

- ・人が集いやすい場所を提供。 ・多目的ホールと買い物の場。散歩、健康、旬の集い。
- ・友達とワイワイ。集まれるスペースがほしい。
- ・子どもが安心して集まり遊べる場所。・子どもたちが遊べる場所。・子供も楽しい。
- ・子供たちが集まる環境をつくる。・子どもだけで安心して遊べる場所。
- ・若者を集める。若者に魅力のあるまちづくり。
- ・高齢者60～75歳の賑わいが必要。・独居老人の集まり。
- ・高齢者と若い人の交流の場として、気軽に集まるような場がたくさんあればよい。
- ・中心街コミュニティーの利用方法として商店は難しい。
- ・地域に求めるものは人との交流。人との関係を持ちたい。
- ・子供を連れて遊びに行ける場所。 ・子育て支援場。
- ・小さなお子さんを連れて参加できるコンサートや催事（クラシックなど）
- ・タウンプラザにレジャスポのようなスポーツ・ゲーム・カラオケ・楽器演奏・マッサージ・マンガ喫茶・ボウリングなど遊べる店をつくる。
- ・朝市をつくる。・帯広や苫小牧に習い屋台村。
- ・福祉施設を中心街に。・児童施設を空き店舗に。
- ・カルチャースクールとしての利用。
- ・高齢者の歩きやすいまち。 ・住む魅力のある生活環境の向上。
- ・公営住宅を中心街につくり、若いファミリー・高齢者が出かけやすい環境をつくる。
- ・お店が小さいとそれぞれ行くのが大変で、大きなお店が行きやすい。
- ・大きな書店。レンタルビデオ店。
- ・タウンプラザの利用。たくさんの人が集まってくれること。
- ・フリーマーケットの開催。タウンプラザ前の広場を使って。
- ・グリーンベルト周辺にホームをつくる。
- ・スポーツクラブ。温泉などの目的のある施設がほしい。
- ・発想を転換してプールやガーデンをつくる。
- ・元のアンケートで週末にオープンカフェをやってほしい。
- ・一定の人の流れをつくる（公共施設→商店街→ターミナルなど）
- ・中心街の概念を変えよう。
- ・大きな解りやすいデザインや色の建物。
- ・グリーンベルト内にドッグランがほしい。・グリーンベルトの意味。
- ・大きな公園。青葉公園は大きくてよいが中心街からは遠い。

② 現状

討議結果の中に老若男女が交流できるコミュニティー施設を求める声が多数ありました。

- ・タウンプラザの有効利用 → カルチャースクール、レジャスポ、ゲーム、カラオケ、フリーマーケットなど
- ・グリーンベルトの有効利用 → ドッグランなど
- ・場所指定なし → 福祉施設、児童施設、プール、ガーデン、老人クラブ、スポーツクラブなど

③ 考察

・中心市街地の賑わいづくりに関する考察として、市民は、交流するコミュニティーの場や老若男女問わず楽しめる施設や憩いの場を求めています。具体的には、グリーンベルトには、イベントが開催されていない時は、閑散としている状況ですので、ベンチの増設や、子供が長時間遊べるように日差し屋根などの休憩所、仮設フード、大通り公園のような噴水、ドッグランの設置をする事で一年を通して人が集まる環境を作り出せれば、中心市街地の活性化に繋がると考えます。千歳のまちの象徴でもあったタウンプラザの有効活用です。理由として、老若男女問わず楽しめる憩いの場を提供できる施設として、市民から有効活用してほしいとの意見が多くありました。1Fには、子供から大人まで楽しめる喫茶店コミュニティー及び定期的な屋台村やフリーマーケットを設けて、2Fには子供のお菓子コーナー、主婦が会話のできるオープン喫茶、アウトレットモール・レラのような室内で遊べるキッズスペース、3Fコミュニティーセンターには市役所の支所を設置(保健福祉部 子育て支援室 保育課 管理係)する事で、千歳の子育て世帯がタウンプラザに集まる仕組みを作り上げる事で中心市街地の活性化に繋がると考えます。

しかしながら、タウンプラザにこのような複合施設を誘致する事はテナントオーナー行政、商店街の連携が必要ですし、このようなプロジェクトを立ち上げる時間、費用を鑑みると、現実的な実現は厳しいと考えます。テナント誘致のノウハウが豊富なテナントオーナーがテナント誘致を積極的に実施しない事を考えれば、素人目線の要望が、果たして中心市街地の活性化に繋がるか否か疑問符がつきます。

また、千歳市民の多くが千歳の中心商店街との関わりや商店街を訪れる機会が少ない為に中心商店街について、現状に満足する意見がなく、多くの改善要望がありました。今後、千歳の中心市街地の課題や問題点を解決して行く為には、普段商店街を訪れない市民、商店街の問題点や課題には興味があるが話す機会がない市民に対して、行政、市民、商店街の三位一体のコミュニティーを形成して話し合をしていく千歳市民商店街交流会議の場を行政及び商店街が提供していく必要があると考えます。

(3) 商店街に対しての要望

① 討議意見集計

- ・青年部育成 ・美味しいお店を知人に教える。
- ・朝市をつくる。
- ・タウンプラザにレジャスポのようなスポーツ・ゲーム・カラオケ・楽器演奏、マッサージチェア、漫画喫茶、ボウリングなど遊べる店を出店する。
- ・イベントの宣伝、紹介のPR不足。例えば、プレミアム券の使用できる店舗が良くわからない。
- ・各商店街全体でイベントを実施する。人が集いやすい場所を提供する。
- ・広報誌ちゃんとなどに商店街のPRクーポンなどをもっと多く載せてほしい。
- ・若くして商店をしてみたい人に空き店舗を安く貸し出す。
- ・帯広や苫小牧にならって屋台村を中心街に設置する。
- ・核になる店舗。(タウンプラザに入ってもら)
- ・商店街でパリのカフェのような雰囲気を作ってみる。(外で食べたり飲んだりする)
- ・接客、話しやすい店。大型店舗にはない対応のできる店。店に入店しづらい。話にくい。
- ・物だけでなく、人物も売りにする。 ⑮入店しやすい店。
- ・商店街ごとに特色があると目的を持って行こうと思える。
- ・昔ながらの喫茶店を大きな公園側に作ってほしい。
- ・子供と一緒に入れるお店がほしい。(服屋さん)
- ・リーズナブルな食事の提供。(ゆっくりいられる)

- ・知り合いから美味しいお店とか口コミで情報が入ると出かける事が出来る。そもそも地域の店の事を知らない。
- ・商店独自の飲食店。
- ・個々の経営努力に力を入れる。
- ・競争し合う。例えばパン屋さんは森もとという固定的なことではなく選べる様に
- ・一つの商店街を一つの商業施設としていく。
- ・24時間営業のドンキホーテのようなお店を開店すれば賑わうと思う。
- ・駅ナカ、カフェ。
- ・若い企業家を考えている方のお手伝い。(ボランティア)後押しやバックアップ。
- ・買い物する品物がない。少ない。
- ・各店セール情報が少ない。
- ・本人の意識改革
- ・居酒屋やファミレスなど外食の場で、キッズスペースなど子どもが遊べる施設を増やしてほしい。
- ・安くて美味しい。満足できるお店があれば良い。

② 現状

- ・千歳の商店街には、特色をもった商品の開発や大型店舗にはない対応(接客力の向上)を市民は求めています。又、千歳全域に商店街の広告やPRはあまり見受けないので、商店街に市民が来店してもらう為の努力をして頂く事が必要です。

③ 考察

- ・討議結果の市民の意見から、商店街のPR、各商店街に人が集まる為の企画や、商店街独自の特徴をもってもらう事を商店街や経営者には実践してほしいとの要望が上がっています。例えば、商店街ごとに千歳バーガーのような特色をもった商品の開発や大型店舗にはない対応(接客力の向上)などは考えていく必要があると考えます。又、千歳全域に商店街の広告やPRは一部の商店街を除き、あまり見受けないので、地道な活動ではありますが、自発的に商店街に市民が来店してもらう為に1件1件の世帯に訪問して商店街の魅力をPRする事で、一人でも多くの市民に各商店街のサポーターなって応援してもらう事が必要であると考えます。例えば、各商店街で市民の商店街サポーター会員の募集をし、年会費を払ってもらう代わりに、特典(イベントチケット、セール情報、無料駐車券等)を設けて、商店街に足を運んで頂くようにします。サポーターには年数回、商店街の活動状況の報告や、今度の活動方針等についてご意見をもらい、市民と一体となって商店街を盛り上げていく事も商店街を活性化する為の選択肢の一つの手段としては有効であると考えます。

2. 交通に関して

(1) バスの利便性について

① 討議意見集計

- ・バス路線の経路を解りやすく (B)
- ・バスの便が悪い JR との乗り継ぎの悪さ。
- ・ビーバスと中央バスの時間が同じような時間になっている為 (D)
- ・バスの時刻表の見方が解らない。ビーバスは解りやすいけど運行している範囲が狭い (D)
- ・バスの便利が不便 (D)
- ・バスのダイヤルートを見直す (G)

- ・無料バスに老人を買い物に連れ出す (G)
- ・バス路線のない郊外に住む高齢者の為に、格安料金で利用できるバスを運行する (G)
- ・バスセンターの移動者の込み合う今の時間は不便です。狭いから (H)
- ・商業施設廻りの巡回バス。例：イオン→アークス→長都駅→千歳駅 (I)
- ・バスで中まで行ければいい (L)

① 現状

・路線の解りにくさ、それに伴う料金や時刻の見づらさ、また乗り継ぎの悪さやバス停利用の不便さなどの理由から、交通網の見直しの意見が多く出されています。交通網の整備はこの市民討議会だけではなく市の課題としても挙げられ、現在、路線再編が行われ、市内を10のエリアに分割し、移動実態や移動ニーズを整理再考が行っています。その結果を見てみると、千歳駅での利用がもっとも多く次いで、もりもと前・仲の橋通り・清水町6丁目・イオン前でした。千歳の交通網の特徴として、各エリアを環にして周遊する路線が組まれているが、周遊距離も長くなり、利用されていないバス停も多くみられ、大まかには駅を中心とした放射線状の路線に再編するような計画として読み取れています。黒字路線は、千歳駅⇄空港と千歳駅⇄東千歳駐屯地のみで、ここを拠点に働く方の利用が多いことが黒字に繋がっていると考えます。他はほとんどが赤字路線で、ビーバスと民間会社との路線が重複していることから、ビーバスは廃止の方向が考えられています。しかし、みどり台などの新しい地域の路線を確保する見通しがあります。また今後は、JR利用との兼ね合いで乗り継ぎなど時刻の見直しと乗り継ぎ料金の設定も整備予定にあります。その他、バスロケーションシステムの導入や各バス停での防風雪対策なども順次整備予定。合わせて、えき・まち空間ワークショップを中心に、駅の周辺整備の計画を行っています。科技大の協力を得て、行動心理学を取り入れたビジュアルサインの設置やバス時刻・バス路線・まち案内の看板設置、この他バス・タクシー・自家用車など各ゾーンのエリア化、バス停の配置などが検討内容上げられ、高齢者への「福祉サービス利用券」の交付をおこなっています。

内容：75歳以上の高齢者へ年額約1万円相当。市内バスや市内タクシー、公衆浴場や理容・美容・はり・灸・マッサージなどに幅広く使えるサービス券。

② 考察

・赤字路線を撤廃するのではなく、福祉の観点からもある程度の税金を投入しても市内の交通路線網を確保する必要がある。赤字を少しでも減らすには、利用者が一人でも多く増える事です。月に一度でもNO車Dayなどを設定し、休日のお出かけにのんびりとバスを利用してみるなど、「たまにバス利用者」を増やす取組みがまち全体の活性に繋がるものと考えます。

これまで1度もバスを利用した事のない人が年に1度でもバスに乗るだけで、確実に数値は上がります。

『バスを利用して、買い物へ行こう！！』

2. 交通に関して

(2) 駐車場について

① 討議意見集計

- ・駐車場が使いにくい。
- ・ニューサンロードに駐車場がなくて不便なので無料の駐車場を作してほしい。
- ・グリーンベルトの駐車場は面倒なのでタウンプラザを中心に区画整理をした方が良い。
- ・駐車場を造る。

- ・ 駐車場が無く、行く手段が限られる。
- ・ 個店の駐車場の利用【設置】を考える。
- ・ 公共駐車場を造る。商店街毎に必要。
- ・ 街に人々が出やすくなるための駐車場を造る。
- ・ 無料駐車場を設置する。
- ・ 駐車する場所がない。
- ・ 駐車場が使いやすい[広い、無料]
- ・ 地下駐車場が役に立っていない。
- ・ イオン駐車場が広い。
- ・ 車を停めるところ。)
- ・ 駐車場（気軽に入れる
- ・ 防衛省の買い上げの土地を植樹しておくだけではなく市民駐車場として活用。
- ・ 千歳駅前、駐車場施設の改善。
- ・ 青空駐車場がない。
- ・ 駐車場がない。
- ・ 駐車禁だから車を置いて買い物ができない。
- ・ 駐車場など買い物へ行きやすい環境をつくる。
- ・ 駐車場があれば行きやすくなる。

② 現状

- ・ 駐車場が無いとの意見があるが、各個店では数台の駐車スペースを個々で用意している店舗は多い。
しかし飲食店、小売店などが比較的駐車場を持っていない。
- ・ 各商店街のいずれも、更地を駐車場に利用しているケースが多いがほとんどが月極め利用となっている。
- ・ コインパーキングは、仲の橋通り商店街近くに1つ。駅前通りに1つ(北洋銀行)
- ・ 無料の市民駐車場は市役所駐車場(仲の橋通り、新川通りが比較的近い)、春日公園沿いの市民駐車場(新橋通り、ニューサンロードが比較的近い)、道の駅駐車場(インディアン水車通りが近い)
- ・ 有料駐車場は、民間会社が所有する駅前の立体駐車場と指定管理で運営するグリーンベルト駐車場、仲の橋商店街通りに立体駐車場が2つ
- ・ 防衛省土地は、環境法で定めた騒音対策で住居としての基準を満たさない干渉地帯に確保させている。
公共性があれば、公園や花壇・資材置き場や駐車場の利用も可能。千歳駅半径1キロ圏の市街地に防衛省地はなし。

③ 考察

- ・ 車社会の現代において、買い物や食事へ出かけるには駐車場の利用は必須となる。7つの商店街でも各店舗で駐車場を設けているところは多い。他都市の事例で、商店街が独自に駐車場を整備し運営、その利潤で商店街と市内を循環するバスを運行するなど、商店街内の活性に使った成功事例がある。
※商店街振興組合法によって出来る事。
- ・ ポイントカードやクーポンの発行。セール等の販売促進。駐車場の経営など。
今回出された意見のように、各商店街通りには、更地にさえ使われていない土地が散見されるので、各店舗で、駐車場がもてないのであれば、何件かがまとまり、例えば各商店街などが中心となって、更地や空き店舗を取り壊して駐車場へ利用する事は有効であるだろう。

市民の多くが、広大で無料の青空駐車場を求めているが、個々の小さな土地の集合体である中心地には現実的には厳しい状況です。

また、駅前通り商店街、仲の橋通り商店街、ニューサンロード商店街、新川通商店街などの商店街などに比較的近く、イベント開催が行えるグリーンベルトや交通の中心となる千歳駅、ミナクールや市民ギャラリー等の市民交流施設の結節地点にあるグリーンベルト駐車場は多いに活用はした方がよいと考えます。今回の討議会でも役立っていないとの声がある。不便との声もあったが、1台分の広さは充分確保され止めやすく改善させており、冬の除雪の手間もかからない。

料金も最初の1時間は無料、タウンプラザ利用者はスタンプ押印で2時間の無料利用ができ、市民ギャラリーの利用に至ってはスタンプ押印で4時間まで無料利用できる。その後も30分毎に50円の追加と、市民ギャラリー利用者は最大でも800円で12時間は駐車可能。夜間利用は21時～9時までで、700円と、街中の駐車場としては、料金が安め。出入庫時間が7時～22時と決まっている為、JRで遅く帰ってきた時などは利用できないのが不便であるので、24時間出入庫ができれば利用の便も良くなると考えます。しかしながら、24時間出入庫可能にする場合の管理体制や夜間の安全面、利用状況を鑑みると実現は厳しいものだと考えます。

また、スタンプ無料押印はタウンプラザ、ミナクール、市民ギャラリーの利用者のみにしか押印はしていないと思われるがちですが、一部の商店街では、商店ごとに無料駐車券の配布は実施しています。しかしながら、無料駐車券を知らない市民が大半ですし、地下のグリーンベルトの駐車場を知りつつも駐車上を利用して商店を利用する市民は少ないのが現状です。グリーンベルトの駐車を促進する為には、グリーンベルト内でのイベント時の無料スタンプの対応と、現在は、指定管理制度により民間会社が運営しているが、千歳商店街振興組合連合会などの商店街が共同で運営する事も一考である。

※指定管理者制度とは

公の施設の管理・運営を株式会社をはじめとする営利企業、財団法人、NPO法人、市民グループなどの法人、その他の団体に包括的に代行されることのできる制度。

3. イベントについて(市内) 3位

① 討議意見集計

- ・市民が集うイベントを実施しているがPR効果が不十分。
- ・イベントの宣伝、紹介のPR不足。
- ・各商店街全体でイベントを実施する。
- ・週末ごとに、軽トラなどで新鮮野菜の販売。
- ・イベント、カラオケ大会。
- ・「憩う場所」集客力のあるソフトの雇用。(イベント等)
- ・月1回シャッター街のイベントを多くする。
- ・中心街のイベントを多くする。
- ・商店街で計画して祭りなどのイベントを多くして人を集める。
- ・千歳市内の各商店街、季節ごとに各イベントを実施する。
- ・情報の発信→広報の必要性。情報の共有。
- ・企画・イベント。
- ・夏祭りは今のままで継続。盛り上がっていて楽しいです。
- ・出会いの場みたいな企画がほしい。
- ・市の中心街で軽トラを利用して野菜の販売をする。

- ・市の中心街に2か月に1回くらいイベントをやる。
- ・7つの商店街合同イベントをもう少し工夫した方がいい。
- ・子ども達のイベントを増やす。
- ・特化したイベント（70歳以上限定とか、コスプレなど）
- ・共通で楽しめるイベント。
- ・催事に大いに力を入れよう！若者の集い。新米ママさんの集まり。
- ・スタンプラリーの開催。

② 現状

・具体的に提案のあったスタンプラリー・野菜を販売する軽トラ市・出会いの場の街コン・カラオケ大会は各々の団体ですすでに開催が行われている。スタンプラリーは、今年4月1日～7月31日まで千歳バーバースタンプラリーが行われていました。千歳は鶏卵生産量が全道1位であり、その鶏卵を使用したバーガー。麒麟ビール千歳工場が地域貢献として開発したご当地グルメ。現在では13店舗でオリジナルの千歳バーガーが販売され協議会も組まれており、バーガー協議会が主催したスタンプラリーが行われていました。過去には、千歳市グリーンツーリズム連絡協議会が中心となった各農園をめぐるスタンプラリーも行われていました。夏休み中には子供向けのイベントとして、セブンイレブンのポケモン・妖怪ウォッチ、ローソンのプリキュアスタンプラリーが行われ、常時行われている道の駅スタンプラリーもある。

野菜を販売する軽トラ市は今年で2年目の開催となる。隔週の土曜日にグリーンベルトにて行われ、JAZZ演奏のステージなどもあり、多くの市民が集っているイベント。

出会いの場となる街コンは、千歳圏人会が主催したものが年に2回で2年間開催され、ちとせ中心街活性化プロジェクトが主催した「あいせき」は過去2回開催済み。今年からは千歳市が高い成婚率を目指して行った本気の合コンが行われ、2回目の開催も準備中である。カラオケ大会は、市内の飲食店（個店）が中心になり、店舗やまちのイベントとコラボレーションをして、数多く行っている。この他イベントは、自治体・企業などが主催する、支笏湖湖水祭り、紅葉祭り、氷濤祭り・千歳 JAL 国際マラソン・千歳川あんどん祭り・スカイピア&YOSAKOI 祭り・納涼花火大会・セガサミーカップゴルフトーナメント・チトセリバープロジェクト・航空祭・各駐屯地祭り、盆踊り・ちとせ川ビール祭り・麒麟ビール祭り・日清ラーメンフェスタ・生涯学習まちづくりフェスティバルふるさとポケット・光と氷のオブジェ・ちとせホルメンコーレンマーチ・インディアン水車まつりなど大型のイベントを始めとし、町内会が主催する子供から大人まで世代間交流が図れる各町内の祭りや各商店街が主催となって行うニューサンロード夏祭り・仲の橋商店街祭り・新橋通り商店街祭りなどのコミュニティレベルの祭りが夏には毎週のように市内の各地で行われている。

また、市民ギャラリーで行う展示型イベントや北ガス文化ホールで行う芸術・芸能発表型イベント、ダイナックスアリーナや温水プール、武道館、青葉公園などで行われているスポーツ系イベント、公民館や福祉センター、図書館、各児童館などで行われている講習型イベントなど、紹介しきれないほどのイベントが1年間に数多く開催されています。

それらの情報発信は様々で、北ガス文化ホールだより、ミナクールからは各月のイベント予定表、スポーツセンターからは野外体育館各月の大会やイベント予定表、千歳市こども活動センターや千歳市教育委員会生涯学習課「マナビー」など資料化されているものやポスターチラシでの配布、HP や情報誌への掲載など様々な形で情報発信が行われている。

③ 考察

- ・ 季節・場所・年代・趣向が凝らされた数限りないイベントが現段階で開催されている。これ以上の数を増やすよりも、今あるイベントへの集客を高める工夫、趣向の違う小さなイベント組み合わせで一体感を持たせるなどの工夫が必要である。

また、情報発信もより多くの方の目に触れられるよう、様々な方法で発信した上で、更に全てを網羅したイベント一覧ページがあると、調べやすくなり定着もしやすくなるのではないか。

【 提 言 】

討議テーマ1 「千歳市の中心市街地の賑わいについて考えよう！」

討議結果を考察した結果、討議テーマ1「千歳市の中心市街地の賑わいについて考えよう！」について4点の提言を作成致しました。

1. 千歳の中心市街地を活性化するために、市民と商店街が意思疎通を図る、

市民交流会議の開催を提言致します。

千歳の中心市街地の賑わいを活性化するためには、市民と商店街が、千歳の中心市街地について議論をする場を提供する事が必要です。千歳市民の多くが千歳の中心商店街との関わりや商店街を訪れる機会が少ない為に中心商店街について、現状に満足する意見がなく、多くの改善要望がありました。今後、千歳の中心市街地の課題や問題点を解決して行くためには、普段商店街を訪れない市民、商店街の問題点や課題には興味があるが話す機会がない市民に対して、行政、市民、商店街の三位一体のコミュニティーを形成して話し合をして意思疎通を図る、千歳市民商店街交流会議の場を行政及び商店街が提供していく事を提言致します。

2. 千歳の中心市街地を活性化するために、商店街の経営者や住民の自助努力や創意

工夫をした魅力ある商店街づくりを提言致します。

討議結果の市民の意見から、商店街のPR、各商店街に人が集まる為の企画や、商店街独自の特徴をもってもらう事を商店街や経営者には実践してほしいとの要望が挙がっています。例えば、商店街ごとに千歳バーガーのような特色をもった商品の開発や大型店舗にはない対応(接客力の向上)などは考えていく必要があると考えます。又、中心市街地で問題となっている空き店舗の有効活用については、7つの商店街、地域住民で市民交流会議の中で事業計画を立てて頂き、その解決策について行政が取りまとめをして、来年度の商業活性化プランに盛り込んで頂く必要があると考えます。

最後に、一人でも多くの市民に各商店街を応援してもらえるファンを増やしていく事ができれば、将来的には、各商店街で市民の商店街サポーター会員の募集をして、年会費を払ってもらう代わりに、特典(イベントチケット、セール情報、無料駐車券等)を設けて、商店街に足を運んでもらうようにして、サポーターには年数回、商

店街の活動状況の報告や、今度の活動方針等についてご意見もらい、市民と一体となって商店街を盛り上げていく事が理想であると考えます。

3. 月に一度NO車DAYの推奨を提言致します。

バス路線赤字を少しでも減らすには、利用者を一人でも多くする事が重要でありますので、赤字路線を撤廃するのではなく、福祉の観点からもある程度の税金を投入しても市内の交通路線網を確保する必要があります。NO車DAYを推奨する事で、休日のお出かけにのんびりとバスを利用してみるなど、「たまにバス利用者」を増やす取組みがまち全体の活性に繋がるものと考えます。

4. グリーンベルトの有効活用を提言致します。

イベントが開催されていない時は、閑散としている状況ですので、ベンチの増設や、子供が長時間遊べるように日差し屋根などの休憩所、仮設フード、大通り公園のような噴水、ドッグランの設置をする事で一年を通して人が集まる環境を作り出せば、中心市街地の活性化に繋がると考えます。

【討議テーマ2】

千歳の河川流域の環境問題について考えよう！

順位	まとめ	投票数
1	・ゴミ対策 ① リサイクルステーションを増やす。(ホーマックなど) ② グリーンリバーへの参加	15票
2	・景観、遊歩道を延長してほしい	14票
3	・学校教育による環境教育の充実(川の良さ悪さを体感してもらう!!) (学校の授業で子供の頃から学ぶ)(事故防磁の為の知識を高める)	13票
3	・千歳川を名水百選に	13票
3	・川に親しむ ・人が集まるイベント ・子供を連れて川の危険性を考えよう ・キャンプ、花、音楽	13票
	・不法投棄について広報、ポスターなどを使ってアピールする	12票
7	・大型ゴミを回収しやすくする。 (町内会で集めてトラックで運ぶなど)	11票
8	・環境整備(市民による河川の清掃)川周辺の外灯(ソーラー)設置(防犯の為) (不法投棄の防止)	10票
9	・川について知る機会をつくる。	9票
10	・親子で川遊び、川で学ぶ	8票
10	・イベント等でマナーの向上について訴える	8票
10	・モラル向上 ・学校職場、家庭教育指導の実施 ・ペットの汚物の持ち帰りをするように廻りが注意する	8票
10	・ゴミ拾い活動の実施(町内会、企業市民が参加する) ・草刈を今より1回多く実施する。(歩道横の草刈も含む) ・有料ゴミ(粗大ごみ、代金を下げる)(不法投棄防止)	8票
14	・川に関するイベントのPR不足!!	7票
15	・川辺にベンチにベンチ又はあずまを設置する。防犯カメラの設置 ・バードウォッチング。小鳥の住む観察会の実施 ・投棄者に対し、市条例が無ければ設置、今日かする	6票
15	・地域住民のボランティアによるパトロール、監視カメラの設置	6票
15	・千歳川の水はとても、きれいな水だという意識を持つ →水質情報の提供、学校での環境学習の実施	6票
15	・ボランティア等を定期的に集い清掃活動を行い、参加者には、感謝状等の何らかの御礼をする	6票
15	・家電リサイクル料金の負担制度や相談窓口を設置する。それでも不法投棄をする人がいたら罰則の窓口を考えてほしい。	6票
20	・ゴミの捨てられやすい箇所に対する対策 →柵の設置・監視カメラの設・除草を行う	5票
20	・ゴミを捨てない。雑草の清掃。カメラの設置。 パトロールの強化、ポスター	5票
20	・イカタ流しなど川と触れ合う機会をつくる。 (川をきれいにしようとする気持ちを知る)	5票
20	・環境、河川敷の雑草の整備	5票

20	・学校での教育。サーモンパーク景観保全活動。バードウォッチング自然観察 ・千歳のシンボルの川をきれいに	5票
20	・安心して子供達が遊べたりする環境を作る為、マップを作りと学校側でのゴミ拾いの協力をお願いしたい	5票
27	・ゴミの捨て方に関する情報を市民に伝える。 →川に捨てるという選択をさせない。	4票
27	・不法投棄の多い場所に監視カメラの設置	4票
27	・水質 生態系を壊さない 水質を学ぶ機会を増やす	4票
27	・いつまでもきれいな川にする(サケがいなくなる)	4票
27	・警告看板の増設	4票
32	・市民企業が協力しやすい体制をつくる。	3票
32	・河川敷等に定期的に市民の憩いの場出来るように季節の花があると良いと思います。	3票
32	・安全施設。安心して川遊び、キャンプ場	3票
32	・個人や企業へのマナーの指導強化	3票
32	・国の法律以外にも河川流域の市町村と協力し条例を作り罰則強化	3票
32	・水と親しむ為の川でのイベント(短い期間の有効活用)	3票
38	・不法投棄を発見したら、積極的に通報する	2票
38	・千歳川を大事にする。→ゴミ拾いの実施。イベントの参加。 ・自分達がそういったモラルに反する事を行ってはいけないと振り返る。 →ちょっとだからいいじゃないという行動をしていないか？自分の住まいだと思って考える。	2票
40	・ゴミ拾い等へのボランティアへの積極的に参加する	1票
40	・清掃ボランティアへの参加	1票

【 提 言 】

討議テーマ2「千歳川の環境問題について考えよう！」

討議結果を考察した結果、討議テーマ2「千歳川の環境問題について考えよう！」

について1点の提言を作成致しました。

1. 遊歩道の延長と案内看板の充実を提言します。

・千歳川の環境を良くしていくためには、ゴミ問題、教育、環境整備の3点の環境整備が必要であると考えます。1つ目としてゴミ対策がありますが、不法投棄（ポイ捨て含む）を減らす手段として継続的に不法投棄防止の広報、ポスター、看板の設置等のPR強化が必要と考えます。

2つ目として河川環境についてですが、学校教育業の中で川と触れ合う機会のある場を水辺活動を実施している団体に依頼して、子供から大人まで一貫して楽しく川について学ぶ新たな環境学習を設け、親子が川で遊ぶイベントを開催しマナー向上を訴えれば市民の意識向上につながり、敷いては河川環境を将来的に良くすることが出来ると考えます。

3つ目として千歳川をより良く利用して頂くために、環境整備が必要不可欠です。現在、遊歩道は国道36号（千歳橋）からサーモン橋付近までしか繋がっておりません。また、周辺の街灯、ベンチ及びトイレ等も不足しているためこれらを増設し、より歩きやすくしていくことで川に対する親近感が持てると共に川と触れ合うことが出来ると考えます。また、川を掘り所にしている生き物達（鳥、魚、昆虫、植物等）の説明看板を設置することにより、歩きながらどんな生き物が居るのか見つける楽しみも増えると考えます。

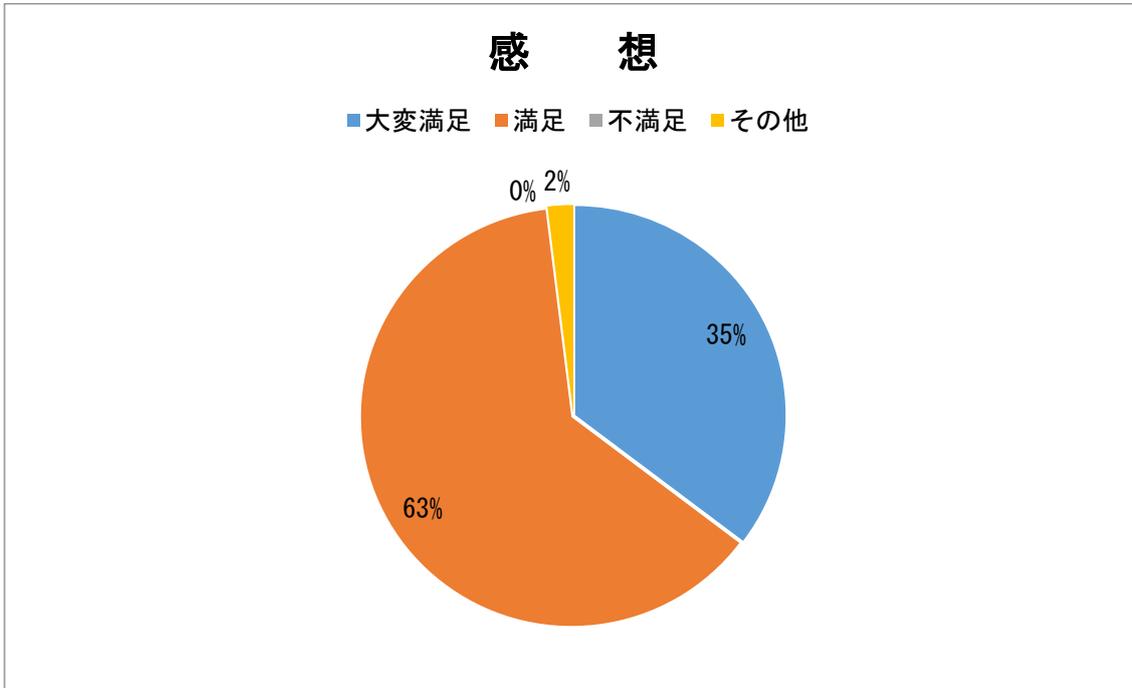
最後に市民が千歳川を良くしていこう（水質保全、景観保全等）と考えていくためには、名水百選のような綺麗な川にしていこうというキャッチフレーズで官公庁と一体となり環境問題に取り組んでいく必要があると考えます。

(3) 今回の市民討議会の検証と考察

第3回 市民討議会参加者アンケート

問1、千歳市民討議会へ参加された感想をお聞かせください。

□大変満足 18人 □満足 32人 □不満足 0人 □その他 1人

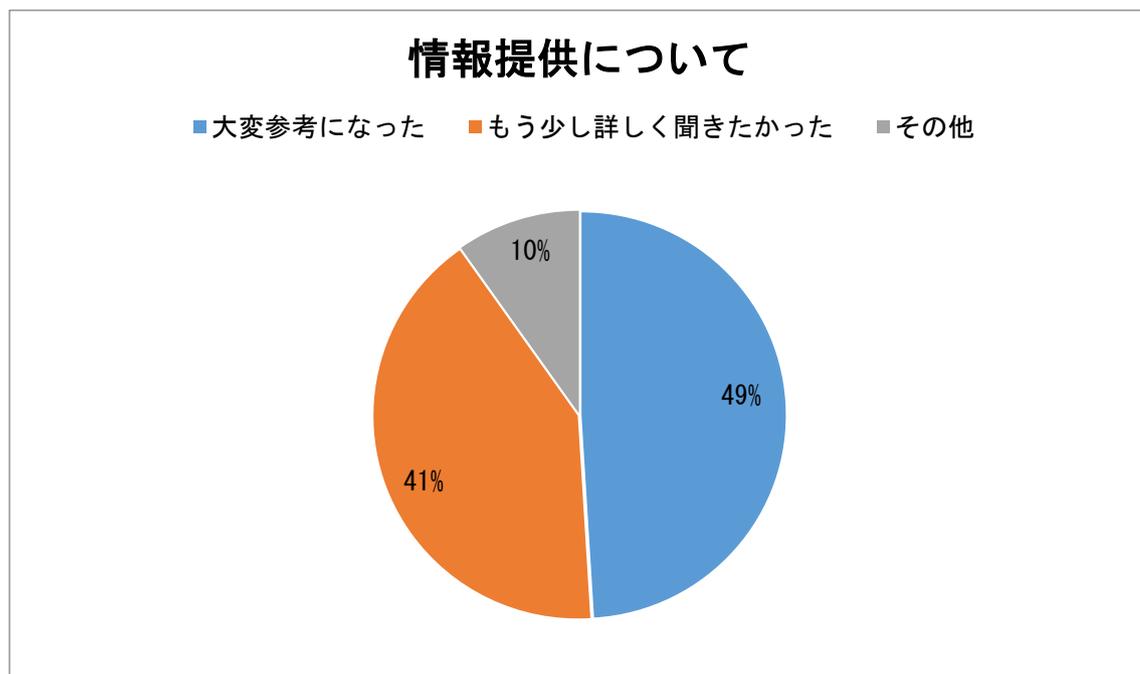


その他

- ・とても勉強になった。たくさん交流した。

問2、情報提供について

□大変参考になった 25人 □もう少し詳しく聞きたかった 21人 □その他 5人



その他

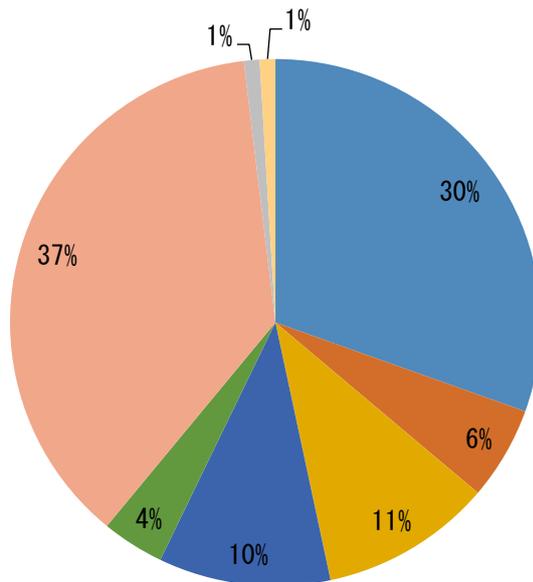
- ・役所の方なので、丁寧だが、ちょっと硬かった。
- ・千歳の河川流域のお話をもう少し聞きたかった。
- ・パワーポイント説明が、聞こえづらかった。
- ・もう少し具体的に説明がほしかったですね。
- ・スライドが見つらかった。資料を手元に配布する。写真グラフを大きくするなどして欲しかった。
- ・選考にもなったし、もっと聞きたかった。

問3、話し合いの方法について（複数回答可）

□話しやすい方法だった 32人 □最初はなかなか言葉が出にくかった 6人
□話しづらかった 0人 □時間が短かった 11人 □時間はちょうど良かった 11人
□時間が長かった 4人 □テーブルの人数が多いと感じた 0人
□テーブルの人数はちょうど良かった 39人 □テーブルの人数が少ないと感じた 1人
□その他 1人

話し合いの方法について（複数回答可）

- 話しやすい方法だった
- 最初はなかなか言葉が出にくかった
- 話しづらかった
- 時間が短かった
- 時間はちょうど良かった
- 時間が長かった
- テーブルの人数が多いと感じた
- テーブルの人数はちょうど良かった
- テーブルの人数が少ないと感じた
- その他



その他。

- ・問題を提起してほしい。→現状を知りたい。
- ・司会が上手でスムーズに自由に話せた。

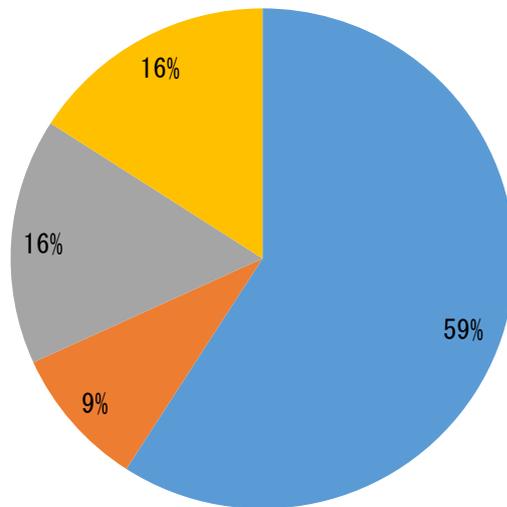
問 4、2,000 円という謝礼の金額は妥当ですか。

□妥当である 26人 □もう少し低い方が良い 4人 □もう少し高い方が良い 7人

□その他 7人

2,000円という謝礼の金額は妥当ですか。

■妥当である ■もう少し低い方が良い ■もう少し高い方が良い ■その他



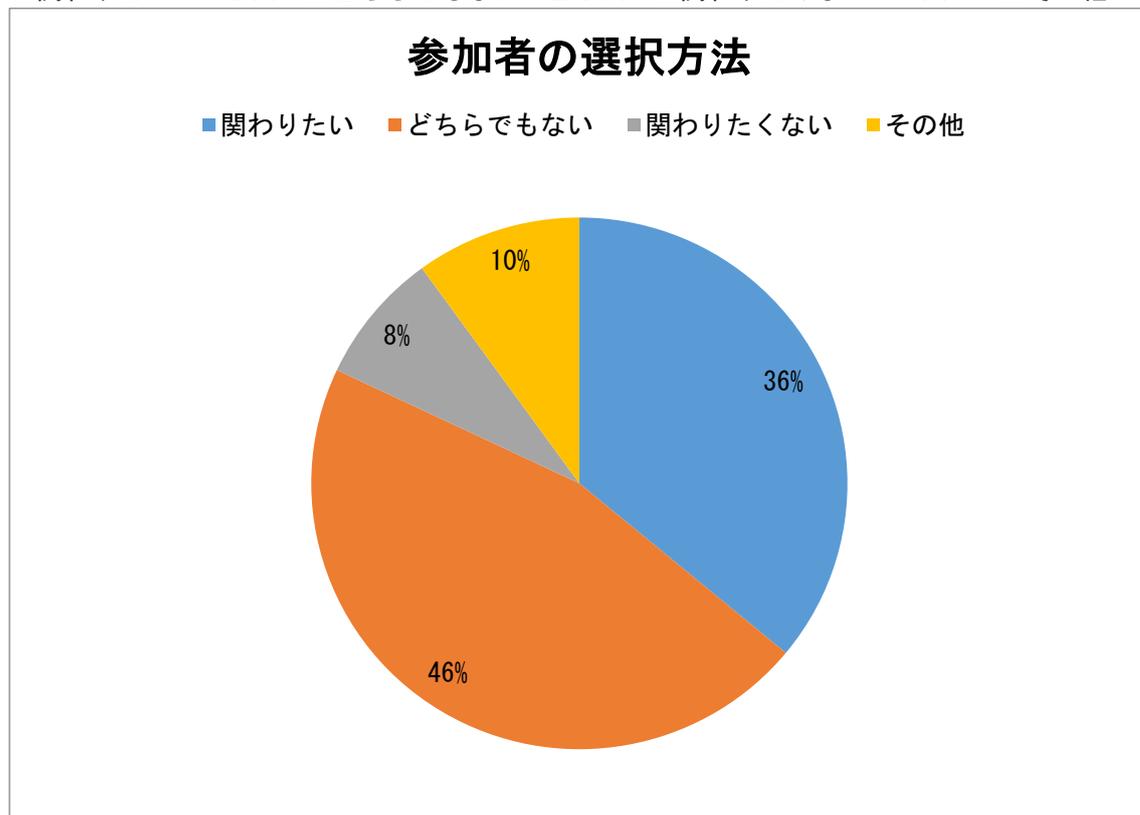
その他

- ・何が基準で2,000円なのかと思ったので答えられない。
- ・無償でも良いが、それだと人が集まらないでしょうか？お弁当は嬉しい
- ・意見は聞かなくても良いのでは？あくまで謝礼ですから。
- ・謝礼は必要ないと思う。ただ遠方の方には交通費を支給した方は良いと思います。
- ・時間で考えるべきだし、もっと話したい事もあるのでなんとも言えませんね。
- ・あってもなくてもどちらでも良い。
- ・時間が長いのでもう少し高くでも良いと思う。
- ・ありがたいのですが、無料で良いと私は思います。

謝礼金額	0円	5
	3,000円	2
	5,000円	1

問5、千歳市民実行委員会の運営に関わりたいと思いますか？

□関わりたい 18人 □どちらでもない 23人 □関わりたくない 4人 □その他 5人



その他

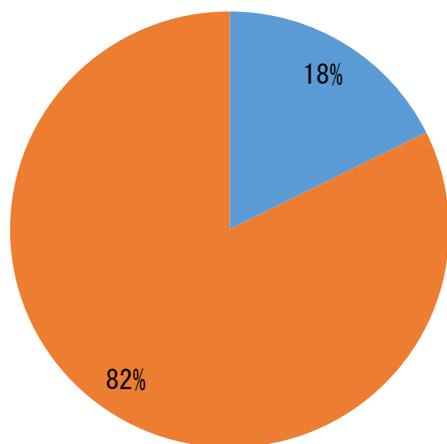
- ・ 仕事で関われないかも。
- ・ 高齢なので。
- ・ 関わりたいと思うが、仕事で迷惑をかけるかもと思っている。
- ・ 仕事あり。
- ・ 介護人を抱えているので参加できない。

問6、これまでに「パブリックコメント」で意見を提出したことや「座談会」などで市が主催する市民参加の事業に参加したことはありますか

ある 9人 ない 42人

市民参加事業に参加した経験があるか

■ある ■ない

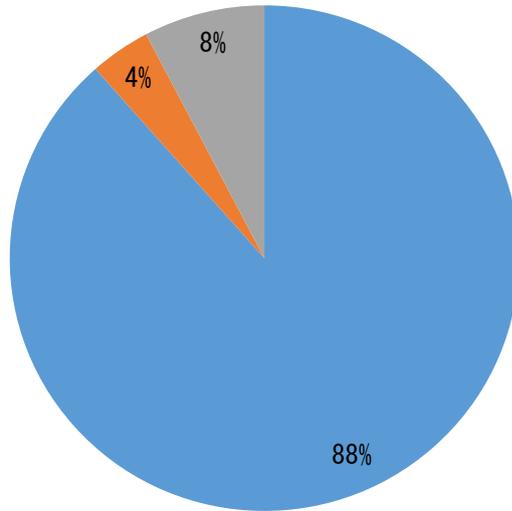


問7、今後も、「千歳市民討議会」を開催した方が良いと思いますか？

□開催した方が良い 46人 □開催しない方が良い 2人 □その他 4人

市民討議会を開催した方が良いか

■開催した方が良い ■開催しない方が良い ■その他



その他

- ・意義があるのであれば開催した方が良い。
- ・ぜひ開催して下さい。
- ・継続が一番ですから。
- ・市に取り上げて頂けるのであれば続けた方が良いと思う。
- ・もう少し開催の回数が多い方が良いと感じました。
- ・活用される事を切望する。

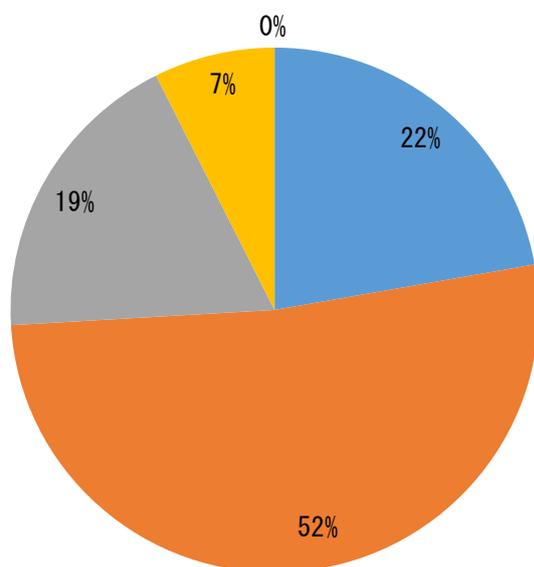
問8、討議をしていく中で、「まちづくり」に関してご自分がこれまでもっておられた考えに変化はありましたか

□自分の考えが参加前と比べて大きく変わった 12人 □どちらかという変わった 28人

□どちらかという変わらない 10人 □変化はなかった 4人 □その他 0人

考えに変化はあったか

- 自分の考えが参加前と比べて大きく変わった
- どちらかという変わった
- どちらかという変わらない
- 変化はなかった
- その他



その他

- ・以前より考えていたが、意識が強まった。
- ・もう少し本音の意見があっても良いと思いました。
- ・同じ考えのある人がいて意義はあると思います。

9、今後どのようなテーマが良いと思いますか

- ・一点集中ではないが千歳市を育てる事が原点。
- ・高齢化社会をどの様に受け入れるか。
- ・千歳の雇用。
- ・千歳の「素通りまち」からの脱却について深く話し合いたいと思います。
- ・グループホームと市民の交流について。
- ・エネルギー対策。
- ・空き店舗の利用など。
- ・観光客が千歳市内に滞在する為には。
- ・過疎少子化。基地との共生。
- ・市政について。市議会内の仕事。(定数減！)
- ・市の運営、子供の住みやすい環境とは？子供を産める病院が少ない。
- ・少子高齢化対策に対する市民討議会。
- ・高齢者の一人暮らしが増えていますので、住宅問題について。千歳は家賃が高すぎます。市営住宅は待機数が多いので当てるまで待っていらせません。
- ・市民としての誇り。
- ・空港のある街として、「外国人観光客を受け入れる為に街ができること」というのはどうでしょうか？
- ・無料の相談所と設置について。仕事についての縁を増やす活動。
- ・特産品が何かわかりにくのでその関連。
- ・子育て環境。保育所や働くママの支援など。
- ・シャッター街の再利用方法とか。
- ・千歳に新幹線を。
- ・医療について(札幌に行く方が多いので)もっと良くしたい。
- ・国と市の違い、道路の補修、公園の整備について。
- ・老人子供にやさしいまちづくり。
- ・町おこしについて。
- ・地区を決めた具体的な意見を出す事が良いと思う。
- ・少子化について。
- ・医療、介護。
- ・空港から駅前のインパクトが欲しい。
- ・バス停に屋根を付けて欲しい。
(要望ですがバスから降りる時、バス停以外の場所でも降りられるようにして欲しい。)
- ・美しい自然を残すため。「若者達のスキルを表現できる社会づくり」
- ・未来の千歳についてどうする、どうしたいか。

10、その他お気づきの点がございましたらご記入お願い致します。

- ・意見や考えが反映されるのは〇〇だと思うが、せめて経過知りたいと思う。真剣に向き合って考えました。実行委員会の皆様の力を信じます。
- ・若い人の意見(高校生)も多いに聞きたいです。
- ・各テーブルよりプレゼンターを出すスタイルではなく、それ以外の方がスムーズだと思う。
- ・初めての参加でしたが、とても楽しく有意義な時間を過ごさせて頂きました。ありがとうございました！
- ・情報提供者は最後までいた方が良くと思う。
- ・もう少し具体的なテーマが良い。
- ・効果的になったらいい。
- ・特になし。
- ・その後、どうなったかも知りたいし、市に提言してどうなったか。1日2テーマより、半日テーマの方が疲れないし楽かも。提言を読みたい。
- ・この会に市内高校生も参加した会を希望します。討議会で話し合われた事を生かして下さい。
- ・事務局さんが、少し固い感じですね。もっと気楽な感じが良いと思います。
- ・ご年配の方も含めてのこういったグループ討議はあまり経験がなく、大変でしたが、いい経験になりました。
- ・大変勉強になりました。
- ・せっかく集まる場所があるので違う議題(テーマ)も意見出来る様にして欲しい。
- ・関西出身で、千歳に住んで2年未満ですが、今まで知らなかった事がたくさん分かりました。あと、お弁当美味しかったです。
- ・裏方の方々のご苦勞に感謝致します。
- ・特にありません。
- ・休憩時間の取り過ぎです。(間がありすぎ)かえって疲れる。
- ・写真撮影は不要です。
- ・すごくわがままかもしれませんが、お茶は苦くて飲めないのです。
- ・参考になりました。楽しい一日でした。
- ・大変勉強になりました。
- ・10代、20代の市民にも参加してほしい。
- ・事務局の皆様、コーディネーターの皆様、お疲れ様でした。
- ・子供と一緒に参加できるのは凄く良かった。
- ・このように討議をする事によって市民の意義が変わっていくと思います。

(計52名による集計結果)

4、資料

(1) 広報掲載記事

広報資料（報告記事） 2015年6月22日 千歳民報記事



広報資料（告知記事） 2015年6月23日 北海道新聞



(7) 当日の様子

事業名	Voice of ちとせ 第三回千歳市民討議会 ～みんなで語ろう確かな未来～
開催日時	2015年6月21日(日)
開催場所	千歳公民館 大集会室
市民討議会参加者	52名
時間	
10:00	開会宣言
10:01	代表者挨拶 (千歳市民討議会実行会 実行委員長 井溪 利光)
	
10:06	趣旨説明 (委員 増子 洋行)
	

10 : 30

市民討議会説明（副実行委員長 中田 愛）



11 : 00

情報提供 1 千歳の中心市街地地区の賑わいについて考えよう！

千歳市産業振興部 商業労働課



11 : 05

休憩

討議開始



発表と投票



12 : 05

昼食

12 : 55

情報提供 2

北海道開発局札幌開建設部千歳川河川事務所管理課管理係 係長 加藤 博史



13 : 45

討議開始



14 : 20

発表と投票



討議終了

お礼の言葉 (監事 佐藤 元康)



15 : 20

16 : 10

閉会宣言



16 : 15

記念撮影

16 : 25

16 : 30

解散

(8) 千歳市民討議会実行委員会諸会議一覧

第1回実行委員会

2014年12月11日(水) 18:00~19:30 千歳商工センター2F 中会議室

- ・自己紹介
- ・役員選定について

第2回実行委員会

2015年02月12日(木) 19:00~21:00 千歳商工センター2F 大会議室

- ・三上直之氏講演

第3回実行委員会

2015年04月08日(水) 18:00~19:30 千歳青年会議所事務局

- ・テーマ選定について

第4回実行委員会

2015年04月27日(月) 18:00~19:30 千歳青年会議所事務局

- ・テーマ選定について
- ・郵送物宛名作業

第5回実行委員会

2015年05月25日(月) 18:00~19:30 千歳青年会議所事務局

- ・テーマ選定について
- ・討議会当日内容について(テーブルコーディネータの選定等)

第6回実行委員会

2015年06月08日(月) 18:00~19:30 千歳青年会議所事務局

- ・討議会当日内容について(備品の作成等)

第7回実行委員会

2015年06月18日(木) 18:00~19:30 千歳青年会議所事務局

- ・討議会当日内容について(模擬討議会・備品チェック)

第8回実行委員会

2015年06月29日(月) 18:00~19:30 千歳青年会議所事務局

- ・討議会反省会
- ・提言書について

第9回実行委員会

2015年07月08日(月) 18:00~19:30 千歳青年会議所事務局

- ・討議会報告会について
- ・提言書について

第10回実行委員会

2015年07月16日(木) 18:00~19:30 千歳青年会議所事務局

- ・提言書について

第11回実行委員会

2015年08月04日(火) 18:00~19:30 千歳青年会議所事務局

- ・提言書について(検証プレゼンテーションの作成)

第12回実行委員会

2015年08月18日(火) 18:00~19:30 千歳青年会議所事務局

- ・提言書について（提言結果の協議・検証プレゼンテーションの作成）

第13回実行委員会

2015年08月18日（火） 18:00～19:30 千歳青年会議所事務局

- ・報告会リハーサル

第14回実行委員会

2015年09月08日（火） 18:00～19:30 千歳商工センター2階大会議室

- ・報告会リハーサル

おわりに

2013年一般社団法人千歳青年会議所主催により、市民主導のまちづくりの実現へ向けて、千歳市において初めての開催となる市民討議会を実施いたしました。昨年末より、市民による市民の為のまちづくりを実現する為、千歳市民討議会実行委員会を発足し、市民によるまちづくりを目的として、第三回千歳市民討議会を開催致しました。

市民による市民の為のまちづくりを実現させるために昨年末発足した実行委員会ですが、過去2年間の千歳市民討議会に参加して頂いた方の中から、有志者を募り更なる市民意識の改革、千歳市民討議会の向上、また頂いた意見の実現を目指し活動を行って参りました。

2月例会では、実行委員会の方向性を見出す為に、有識者である北海道大学三上直之准教授に市民討議会について、実行委員会の活動方法、手法などをご講演頂く事で実行委員会メンバーのモチベーションを上げて頂きました。発足したばかりの団体なので、テーマ選定、準備等様々な所で至らない所はありましたが、6月に無事、千歳市民討議会を開催させて頂く事が出来ました。参加者は昨年を下回りましたが、例年より若い方などの参加者が増えたため、様々な意見を頂く事が出来ました。しかし、テーマを抽象的に作ってしまった為、例年と同様な意見も多く出てしまったので、今後はテーマ選定を見極めなければならないと感じています。しかし、アンケート結果を見る限り、一つの目的である市民意識の改革は成功したと確信しています。9月例会では、報告も兼ねて千歳市民討議会に参加して頂いた方を集い、公開委員会をさせて頂きました。千歳市民討議会で頂いた意見を、実行委員会で、考察、検証し、報告をさせて頂く事で、価値のある提言書になったと感じています。また、実行委員会が自ら足を運び考察、検証した事を発表する事で、更なる市民意識向上に繋がったと感じています。今後も市民討議会を継続して行う事で、市民意識の改革、市民討議会の向上を図れると思います。また、市民討議会で出た意見も価値のあるものとしてとらえて頂けると確信しています。

千歳市民討議会は昨年末発足した実行委員会により今後とも運営していかねばなりません。しかし、まだ青年会議所の手を離れる事が出来ない為、今後は有志者を募っていくと共に実行委員会の向上を目指し、千歳青年会議所が一丸となって千歳市民討議会に取り組んで参りますので、今後ともご協力のほどよろしくお願い致します。

最後に、市民討議会に関わってくださった、各団体、機関、市民の方に心より御礼申し上げたいと思います。引き続き、ご指導、ご鞭撻のほどをお願いしたいと思います。本当にありがとうございました。

千歳市民討議会実行委員会 副実行委員長
一般社団法人千歳青年会議所 市民力推進委員会 委員長
中田愛

平成27年度

～Voice of ちとせ～「第三回千歳市民討議会」

実施報告書

平成27年11月発行

編集・発行

事務局

〒066-0042

千歳市民討議会実行委員会

一般社団法人千歳青年会議所

千歳市東雲町三丁目2番地の6

(千歳商工センター1F)

電話 0123-24-6868

FAX 0123-24-6868